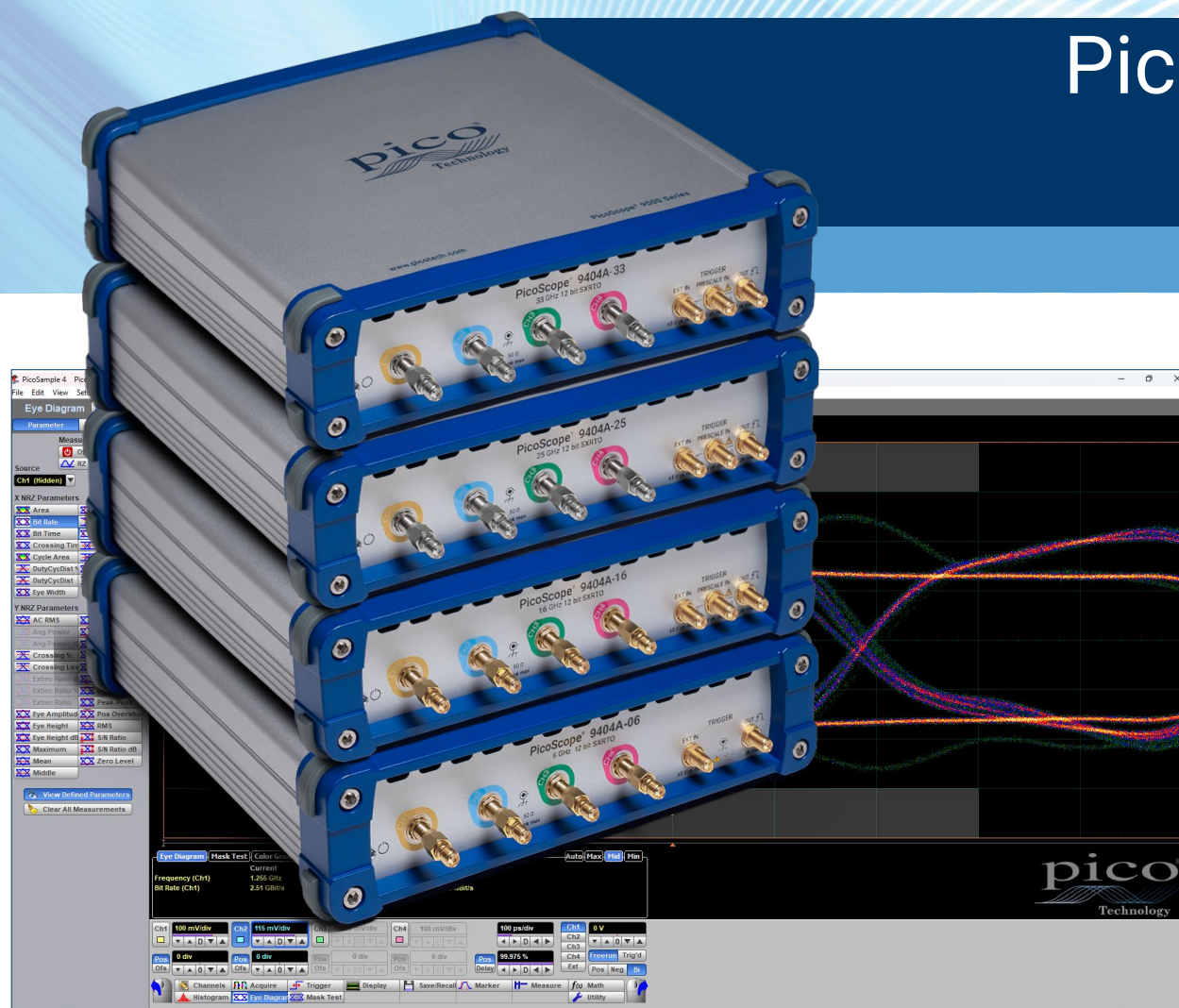


PicoScope[®] 9400Aシリーズ

SXRT0サンプラー拡張リアルタイムオシロスコープ
帯域幅6 GHz・16 GHz・25 GHz・33 GHz、4チャンネル



PicoScope 9404A-33

帯域幅33 GHz、移行時間11 ps
ランダム等価時間サンプリング5 TS/秒 (分解能0.2 ps)

PicoScope 9404A-25

帯域幅25 GHz、移行時間14 ps
ランダム等価時間サンプリング5 TS/秒 (分解能0.2 ps)

PicoScope 9404A-16

帯域幅16 GHz、移行時間22 ps
ランダム等価時間サンプリング2.5 TS/秒 (分解能0.4 ps)

PicoScope 9404A-06

帯域幅6 GHz、移行時間58 ps
ランダム等価時間サンプリング1 TS/秒 (分解能1 ps)

12-bit 500 MS/s ADC、±800 mVフルスケール入力範囲

22 psまで、最大16 Gb/sのパルス、アイ、マスクテスト

直感的で構成可能なWindowsユーザーインターフェース (タッチパネル対応)

測定結果、ズーム、データマスク、ヒストグラムなどの包括的な内蔵機能

デジタルゲインによる範囲10 mV/div~250 mV/div

最大250 kSのトレース長、チャンネル間で共有

クロック回復トリガー11.3 Gb/s (オプション)

回復クロックおよびデータ出力 (オプション)

製品概要

PicoScope 9400Aシリーズサンプラー拡張リアルタイムオシロスコープ(SXRT0)には、高帯域幅の50 Ω 入力チャンネルが4つついており、業界をリードするADC、正確な測定および高速アナログ・データ信号の可視化を実現するタイミング・ディスプレイ解像度を特徴としています。11 psまでのパルス・ステップトランジション、22 psまでのインパルス、16 Gb/s (オプションの11.3 Gb/sクロック回復機能使用時) までのクロック・データアイの取得に最適です。

PicoScope SXRT0ではランダムサンプリングが可能で、反復信号やクロック関連ストリームが含まれている高帯域幅のアプリケーションを解析できます。

SXRT0は高速で、ランダムサンプリング、残像ディスプレイ、統計などを迅速に構築します。

PicoScope 9400Aシリーズには、すべてのチャンネルに内部トリガーが内蔵されており、ナイキスト(リアルタイム) サンプルレートを超えても対応可能なプリトリガーランダムサンプリングが搭載されています。帯域幅は最大33 GHz (50 Ω 2.92mm(K)メス入力、SMA対応) で、リアルタイム、ランダム、ロールという3つの取得モードがあります。すべてのモードで、12ビットの解像度で最大250 kSの共有メモリにキャプチャを行います。

タッチ対応のPicoSample 4ソフトウェアは、10年間に及ぶ開発やお客様からのフィードバックを形にして最適化を図ったソフトです。

ディスプレイは、どのようなウィンドウにも合わせてサイズを調整できます。4K以上のモニターや複数のモニターにも対応しています。4つの独立ズームチャンネルにより、0.2 psの解像度にまでデータを別個に表示できます。コントロールおよびステータスパネルのほとんどは、アプリケーションに応じて表示/非表示を切替えることができるので、ディスプレイエリアを有効活用できます。

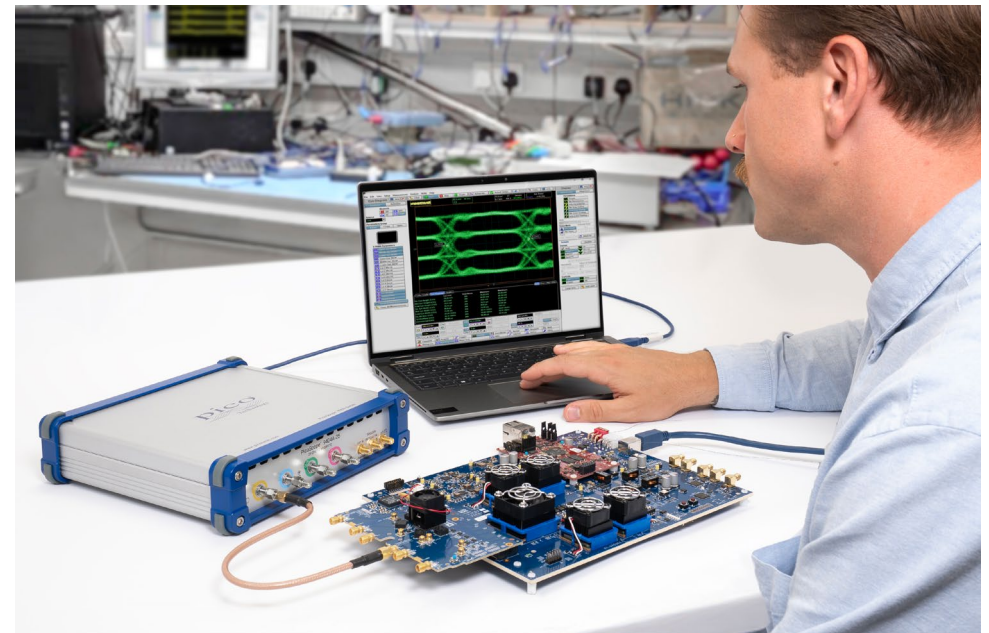
2.5 GHzのダイレクトトリガーはどのような入力チャンネルにも対応しており、内蔵のディバイダーでオフチャンネルトリガー帯域幅を6 GHzまで拡張することができます。16、25および33 GHzモデルでは、さらなる外部プリスケールトリガー入力により、それぞれ16 GHz (9404A-16) ・20 GHz (9404A-25、9404A-33) の帯域幅の信号から、または内部トリガーからの安定したトリガーが可能になります。回復クロックトリガーは11.3 Gb/sまで利用できます(オプションのクロックリカバリを使用の場合)。クロックリカバリオプションを使用すると、回復クロックおよびデータはいずれも背面パネルのSMA出力で使用することができます。

PicoScope SXRT0には、必要なものがすべて付属しています。ソフトウェアや更新などに追加で料金がかかることはありません。

一般的な用途

このオシロスコープは、研究室や実稼働環境で働くエンジニアの方々や、以下のような広帯域幅信号の柔軟な測定に関連した機能が必要となる方々のために開発されています：

- 通信・レーダーテスト、サービスおよび製造
- 光ファイバー、トランシーバー、レーザーテスト (OE変換への対応なし)
- RF、マイクロ波、ギガビットデジタルシステム測定結果
- 信号、アイ、パルス、インパルス解析
- 高精度タイミング・フェーズ分析
- デジタルシステム設計および解析
- アイダイアグラム、マスク、リミットテスト (最大16 Gb/s)
- 11.3 Gb/sでクロック・データ回復
- Ethernet、HDMI 1、PCI、SATA、USB 2.0
- 半導体解析
- 信号、データ、パルス/インパルスインテグリティ、プレコンプライアンステスト



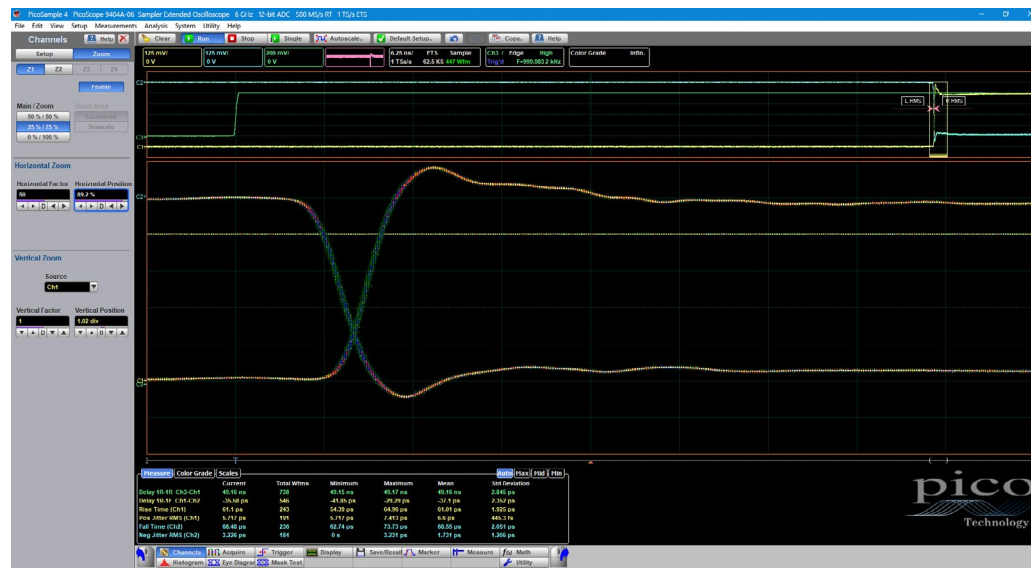
ランダム等価時間サンプリング

PicoScope 9400AシリーズSXRT0sは、ランダム等価時間サンプリングを使って広帯域幅の反復信号またはクロック生成信号を捕捉します。高額な高速リアルタイムオシロスコープは必要ありません。

PCオシロスコープの業界最低となる1.2 ps RMSの真性ジッターと搭載しているため、オシロスコープはタイミングの不正確さを最小限に抑えて信号をキャプチャすることができます。

ランダム等価時間サンプリングは、複数のトリガーイベントを通してサンプルポイントを取得するため、入力波形を反復波形にする必要があります。各トリガーイベントで、より多くのポイントを取得して、以前に取得したポイントと組み合わせます。これにより、サンプル間隔の逆数に相当する有効なサンプルレートで波形のレコードが作成されます。

25GHzと33GHzのモデルでは、遷移時間はそれぞれ14ps、10.9psになります。16GHzモデルでは22 ps、6 GHzモデルでは70 psです。どのモデルも、同帯域幅の競合他社モデルより高速です。ランダムサンプリングでは、それぞれ0.2 ps、0.4 ps、1 psのタイミング解像度に対応しています。



トリガーモード

信号を入力チャンネルのいずれかに供給します。

オシロスコープには、各入力チャンネルから2.5 GHzの内部ダイレクトリガーと、ディバイダーを介して各チャンネルから6 GHzのDCが搭載されています。16GHzモデルには16GHzのプリスケールトリガーが、25GHz・33GHzモデルには、それぞれ18GHz、20GHzの外部プリスケールトリガー入力が入内臓されています。

クロック回復トリガー（オプション）は、内部チャンネルパスから供給されます。このオプションを使用すると、クロックおよびデータ信号が背面パネルのSMAコネクタに出力されます。



クロック・データ回復

クロック・データ回復 (CDR) は、すべてのモデルで工場出荷時にオプションのトリガー機能として利用できます。

高速シリアルデータアプリケーションに関連して、クロック・データ回復はPicoScope 9300ユーザーには既に馴染みのあるものです。低速シリアルデータは、別の信号としてそのクロックを伴うことが多いですが、高速では、このアプローチは、クロックとデータとの間のタイミングスキューおよびジッターを蓄積し、正確なデータのデコードを妨げる可能性があります。このようにして、高速データレシーバーは新しいクロックを生成し、フェーズロックループ技術を使用して、新しいクロックをロックし、入力データストリームに合わせます。これは回復クロックであり、デコードに使用できるため、正確にデータを回復できます。また、シリアルデータ信号だけで済むようになったことで、クロック信号経路全体のコストを削減することができました。

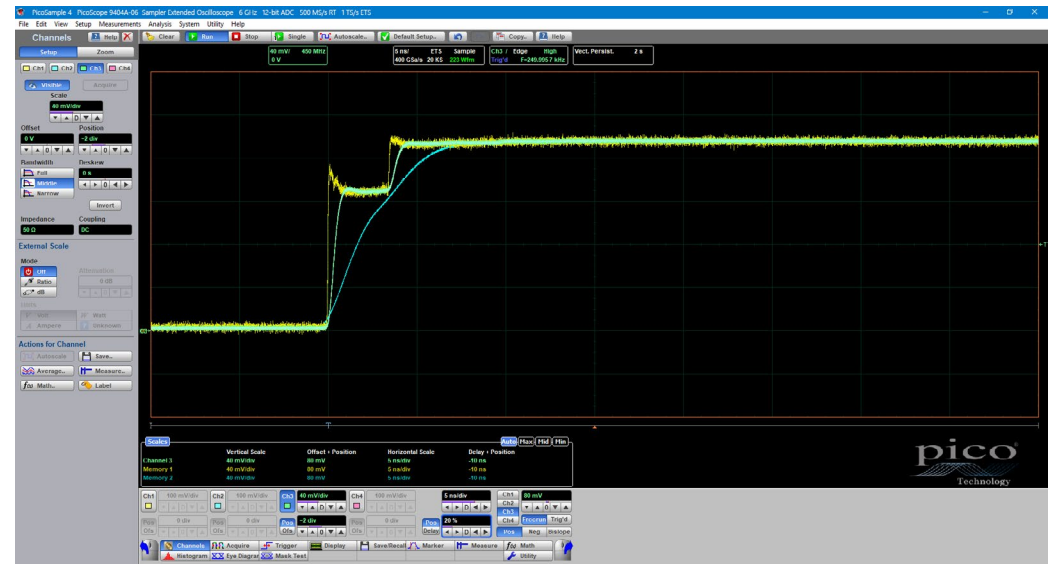
データを見るためにオシロスコープを必要とする多くのアプリケーションでは、データジェネレーターとそのクロックはすぐ近くにあり、そのクロックをトリガーすることができます。ただし、データだけが使用可能な場合（例えば光ファイバーの遠端で）、CDRオプションを使用してクロックを回復し、代わりにそのクロックをトリガーする必要があります。また、要求の厳しいアイおよびジッター測定ではCDRオプションを使用する必要があります。これは、回復クロックとデータレシーバーの信号品質をできるだけ正確に測定するためです。

装備されている場合、任意の入力チャンネルからトリガーソースとしてPicoScope 9400A CDRオプションを選択できます。さらに、他の計器または下流システム要素で使用するために、2つのSMA(f)出力は、回復クロックおよび回復データを背面パネルに表示します。



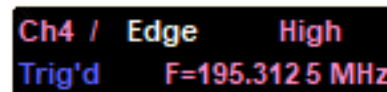
帯域幅リミットフィルター

各入力チャンネルでは、アナログ帯域幅リミッター（100または500MHz、モデルにより異なります）を選択して、高周波および関連ノイズを除去することができます。低い設定はアンチエイリアスフィルターとしてリアルタイムサンプリングモードで使用できます。



周波数カウンター

高速かつ正確なビルトイン周波数カウンターは測定値やタイムベースの設定に関わりなく、1 ppmの解像度で常時、信号の周波数（または期間）を示します。

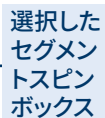


[Acquire (取得)] メニューのセグメント化取得モードでは、使用可能なトレースメモリ長を複数のトレース長 (セグメントまたはバッファ) にセグメント化します。最大1024のトレースを捕捉でき、画面上にレイヤーで、または個々に選択して表示できます。これは、まれに発生するイベントを捕捉して表示する際に役立ちます。



トレースオーバーレイ

異常なイベントを捕捉し、スクロールして見たり、異常なトレースが検出されるまでオーバーレイトレースのより小さなブロック周辺のゲートを閉じたりできます。二分検索メソッドを使ってより多くのトレースセグメントを処理するセグメントファインダーもあります。



デスクュー変数は、アクティブなチャンネルの水平位置(タイムオフセット)を装置ディスプレイの別のチャンネルに対して調整します。デスクュー関数の範囲は、 ± 50 nsです。粗増分は100ps、微細増分は10psです。手動、または計算機データ入力では、増分は有効数字4つ、または1 psです。

デスキューを使って、2つ以上のチャンネル間のタイムオフセットを補償できます。異なるケーブルまたはプローブ長から生成される場合があり、入力および出力波形の整列比較を行うことができます。

以下の例では、デスキューを使って差動ペアを正確に整列しています。トレースの追加（波形ディスプレイの右半分）により、最低コモンモード向けに高い精度で整列を行うことができます。



SXRT0の説明

基本的なリアルタイムオシロスコープ

リアルタイムオシロスコープ (RTO) は、装置で指定したアナログ帯域幅で過渡信号や非反復信号を捕捉するのに十分な高いサンプルレートを提供できる設計となっています。最小インパルス幅はわかりますが、測定や解析はもちろん、その形状を判定する上でも決して満足と言えるものではありません。一般的な高帯域幅RTOは、このサンプルレートを超えて2倍になり、1サイクルにつき最大で4サンプル、または最小インパルス幅で3サンプルを達成できます。

ランダムサンプリング

RTOのナイキストリミットに近い、またはリミットを超える信号に対しては、多くのRTOはランダムサンプリングと呼ばれるモードに切替えることができます。このモードでは、多くの各トリガーイベントに対してできるだけ多くのサンプルを収集し、各トリガーからの多くのサンプルにより詳細な波形が再構築されます。これらサンプルを整列する上で重要なのは、各トリガーと次に起こるサンプルクロック間の時間を正確かつ別個に測定することです。

多くのトリガーイベントが収集されると、スコープは希望の時間解像度で波形を表示できます。これは、有効サンプリング解像度 (有効サンプルレートの逆) と呼ばれており、リアルタイムモードより何倍も高い解像度となります。

この手法はトリガーイベントとサンプリングクロック間のランダムな関係に依存しており、トリガーイベントのまわりで波形が比較的安定した反復信号でのみ使用できます。

サンプラー拡張リアルタイムオシロスコープ (SXRT0)

PicoScope9400A25GHz・33GHzモデルの最大有効ランダムサンプルレートは5TS/sで、タイミング分解能は0.2 psです。これは、スコープの実際のサンプルレートの5000倍に相当します。

最高33 GHzのアナログ帯域幅を備えたこれらのSXRT0では、ナイキストの基準を満たすために50 GS/sを超えるサンプリングレートが必要で、波形とパルスの形状を明らかにするにはこれ以上 (おそらく 125 GS/s) が必要です。

16 GHzモデルはランダムサンプリングを使用し、1サイクルで200サンプルポイント (スコープの定格帯域幅)、または最速の移行時間の10%から90%の間で70 サンプルを提供します。

SXRT0はサンプリングスコープですか？

サンプリングレートやサンプリングモードの説明を聞くと、SXRT0はサンプリングスコープの一種だと感じるかもしれませんが、実際は違います。慣例として、サンプリングスコープという名称は異なる種類の装置を指すことがあります。サンプリングスコープは、プログラム可能な遅延ジェネレーターを使い、各トリガーイベントの後に一定間隔でサンプルを収集します。この手法はシーケンシャル等価時間サンプリングと呼ばれ、PicoScope 9300 シリーズサンプリングスコープの動作原理となっています。これらのスコープは非常に高い有効なサンプリングレートを実現できますが、主要な欠点が2つあります。トリガーイベントの前にはデータを捕捉できないことと、外部ソースか内蔵のクロック回復モジュールからの別個のトリガー信号が必要であることです。

以下の表は、このページで紹介されている各種オシロスコープの違いを示しています。例となっている製品は、すべて4チャンネルのコンパクトUSB PicoScopeです。

	リアルタイムスコープ	SXRT0 (サンプラー拡張リアルタイムオシロスコープ)			サンプリングスコープ
モデル	PicoScope 6426E	PicoScope 9404A-06	PicoScope 9404A-16	PicoScope 9404A-25 9404A-33	PicoScope 9341-25
アナログ帯域幅	1 GHz	6 GHz	16 GHz	25 GHz/ 33 GHz	25 GHz
リアルタイムサンプリング?	5 GS/s	500 MS/s			1 MS/s
シーケンシャル等価時間サンプリング?	いいえ	いいえ			15 TS/s
ランダムサンプリング?	該当なし	1 TS/s	2.5 TS/s	5 TS/s	250 MS/s
入力チャンネルのトリガー?	はい	はい			最大帯域幅100 MHz。外付けトリガーまたは内部クロック回復オプションが必要
プリトリガーキャプチャ?	はい	はい			いいえ
垂直分解能	10ビット	12ビット			16ビット

PicoConnect® 900シリーズ高周波受動プローブ

PicoConnect 900 S シリーズは、最高 9 GHz および 18 Gb/s のマイクロ波とギガビット用途向けに設計された低侵襲高周波受動プローブの製品ラインです。前例のない性能と柔軟性を低価格で提供するこれらのプローブは、PicoScope 9400A シリーズのオシロスコープとの併用に最適な製品です。

PicoConnect 900 シリーズプローブの機能

- 0.3 pF 未満という極めて低い負荷容量 (代表値)、すべてのモデルでテストリミット上限 0.4 pF
- 正確で安定したプロービング向けの指先で操作可能なスリム設計、細かな尺度ではんだ付け
- 分割比 5:1、10:1、20:1 の交換可能な SMA プローブヘッド、AC または DC カップリング
- $Z_0 = 0\ \Omega \sim 100\ \Omega$ の高速送電線の正確なプロービング
- クラス最高レベルの未修正パルス/アイ応答、パルス/アイ妨害

PicoConnect 910キットには、3つの分割比で4～5 GHzプローブが6つ、およびAC (>160 kHz) とDCのカップリングが同梱されています。

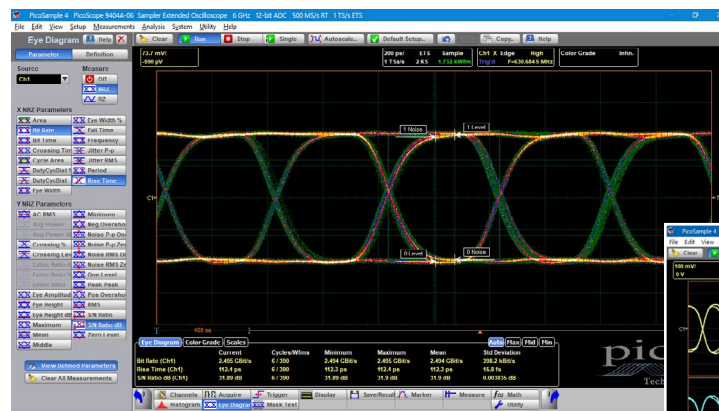
PicoConnect 920キットには、3つの分割比で6～9 GHzギガビットプローブが6つ、およびAC (>160kHz) とDCのカップリングが同梱されています。



すべてのプローブ (課金可能な追加) は個々に、またはキット

として利用でき、高精度・低損失ケーブル、スペアのプローブチップ、はんだ付けキットがすべて便利な保管ケースに含まれています。

特許番号GB 2550398



ソフトウェア

アプリケーションを構成可能なPicoSample 4オシロスコープソフトウェア

PicoSample 4ワークスペースは、お客様が使用されている1つ、または複数のディスプレイのサイズ・解像度を有効活用し、Windowsが対応する様々なディスプレイ解像度に合わせてウィンドウのサイズを変更することができます。

トレースディスプレイ、測定結果ディスプレイに割り当てるスペース、コントロールメニューの表示・非表示を設定できます。ユーザーインターフェースは、マウスでもタッチスクリーンでも操作可能で、トレース、カーソル、領域、パラメータをグラブ・ドラッグできます。タッチスクリーンモードでは、パラメータコントロールが拡大表示されるため、小さなタッチスクリーンディスプレイでも簡単に調整できます。

ズームするには、ズームウィンドウを描画するか、または数字のズームとオフセットコントロールを使用します。表示された波形の異なる拡大ビューを最大4つ表示できます。

「非表示トレース」アイコンは、メインディスプレイに現在表示されていないチャンネルのライブビューを表示します。

タイムベース、サンプリングレート、捕捉サイズのインタラクションは通常自動的に処理されますが、これを上書きしてこれら3つのパラメータの優先順位を指定するオプションもあります。

画面形式の選択

複数のトレースで作業する場合、1つのグリッド上にすべてのトレースを表示するだけでなく、2～4つのグリッド上にトレースを個別に表示することもできます。XYモードで信号を表すこともできます。その際、電圧-時間グリッドを追加することも可能です。残像ディスプレイモードでは、カラーコンターまたはシェーディングを使って信号の統計的変動を表示します。トレースディスプレイは、ドットのみまたはベクトル形式のいずれかにすることができ、これらのディスプレイ設定すべてはトレースごとに別個に行うことができます。カスタムトレースラベリングも使用可能です。

PicoSample 4ソフトウェア

PicoSample 4ソフトウェアのインターフェースでは、装置の機能すべてをコントロールするコマンドにアクセスできます。

ディスプレイエリア

ライブ、参照、演算波形を表示します。波形をドラッグして位置を変えたり、ズームウィンドウをドラッグ・描画したりできます。マーカー、境界、しきい値をドラッグして、画面上の測定結果を構成できます。オンスクリーンコントロールを非表示にして、トレースエリアを増やせます。

システムコントロール

オシロスコープが実行中か停止しているか選択しています。別のボタンでは、オシロスコープをデフォルトのステータスにリセットしたり、**Autoscale (自動スケール)**したり、ディスプレイから波形を消去したりできます。

ステータスエリア

取得ステータス、モード、取得件数を表示します。また、トリガーステータス、日付、時間、レコード長および水平パラメーターのクイックリファレンスも表示されます。

ヒストグラムウィンドウ

ヒストグラムの解析・表示 (赤) に使用するデータベースの部分を選択します。オシロスコープの水平・垂直方向のスケール上限に従って、このウィンドウのサイズと位置を設定できます。

メインメニュー

装置の機能すべてをコントロールするコマンドを提供します。

左サイドメニュー

マウスで左クリックするか、タッチスクリーンで **Toolbar (ツールバー)** のボタンをタップすると、左サイドメニューのエリアに指定されたメニューを追加できます。

測定エリア

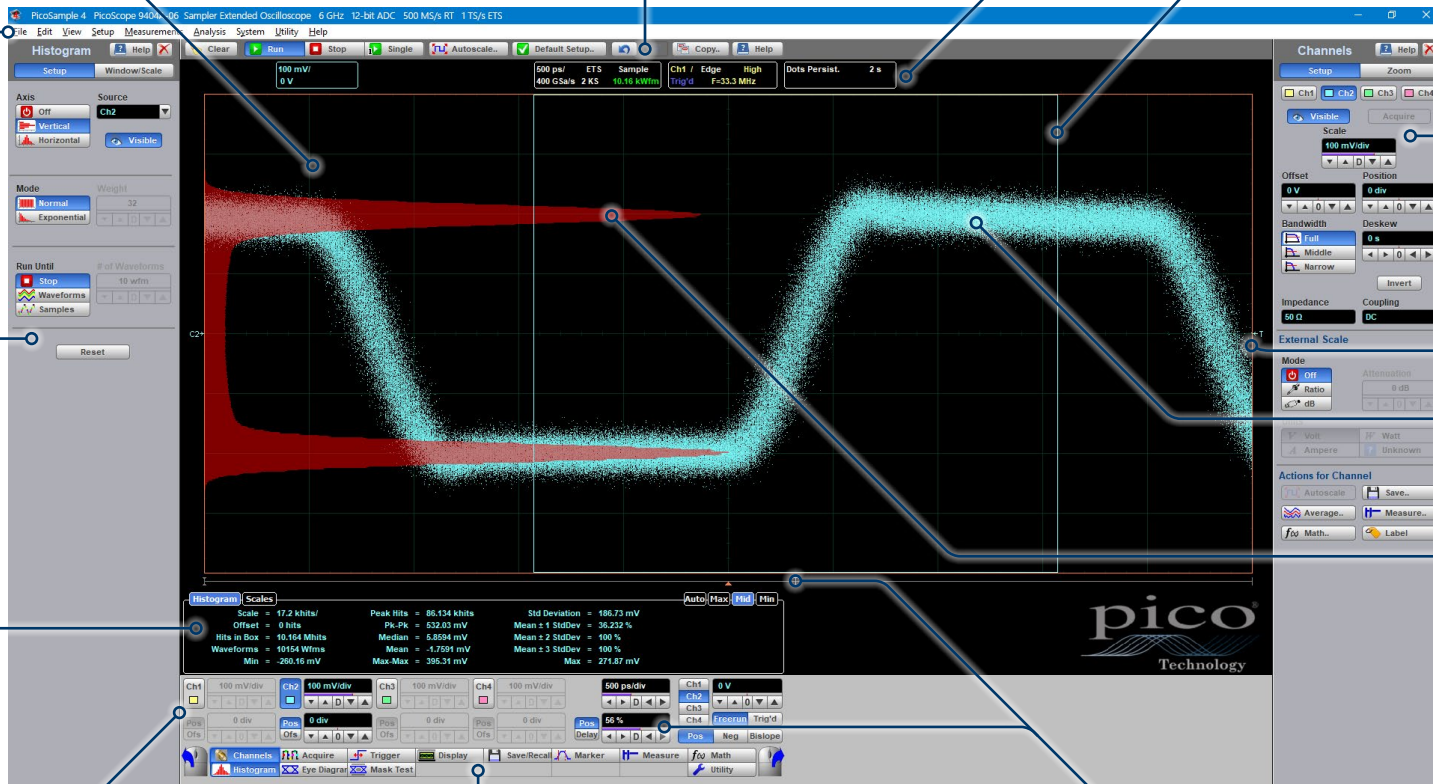
以下のスクロールタブ内に測定結果を表示することができます。

- スケール
- カラーグレード
- マーカー
- 測定
- ヒストグラム
- アイダイアグラム
- マスクテスト

Auto (自動)、**Max (最大)**、**Min (最小)** および **Mid (中間)** ボタンを使用してディスプレイエリアのサイズを調整し、必要なデータになるべく多く、またはなるべく少なく表示できるようにします。

常設コントロール

波形の表示に影響を与える最も一般的な機能です。



右サイドメニュー

Toolbar (ツールバー) のボタンを右クリック、またはタッチスクリーンを長押しすると、右側のメニューエリアに指定したメニューを追加できます。

トリガーレベル

T アイコンをクリックまたはタップしてドラッグするか、**Trigger position (トリガー位置)** コントロールを使用して、選択したトリガーソースのトリガーレベルを変えます。

波形

垂直ヒストグラム

水平・垂直 (図) ヒストグラムでは、定期的に測定結果が更新され、信号のユーザー定義領域に従って統計的分布を解析・表示できます。

ツールバー

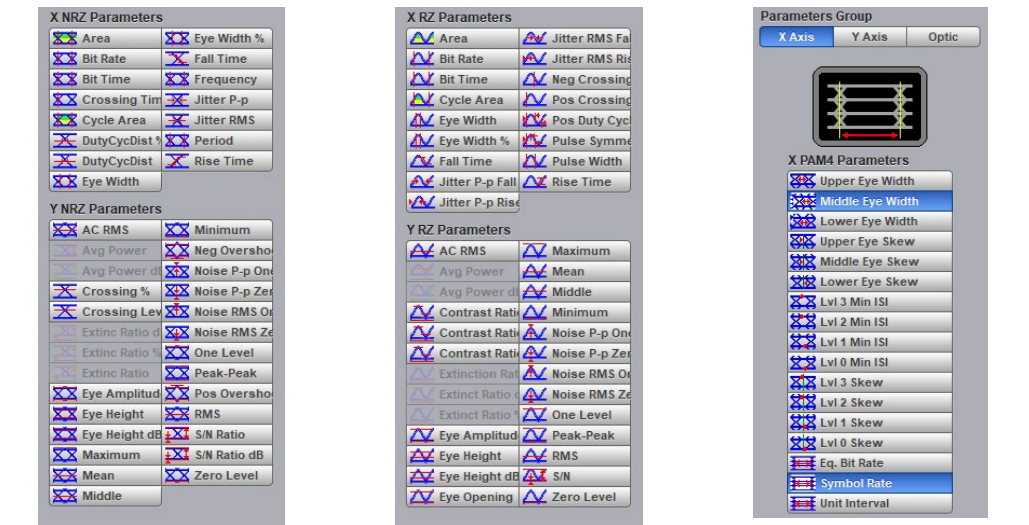
12のボタンがあり、オシロスコープの操作モードを以下から選択して設定できます: **Channels (チャンネル)**、**Acquire (取得)**、**Trigger (トリガー)**、**Display (表示)**。また、波形測定の設定・実行も可能です: **Marker (マーカー)**、**Measure (測定)**、**Histogram (ヒストグラム)**、**Eye Diagram (アイダイアグラム)** があります。ファイル管理タスク (**Save/Recall (保存/呼び出し)**) のコントロールや、波形解析 (**Math (演算)**) および **Mask Test (マスクテスト)** の実行も可能です。さらに、装置キャリブレーションを設定・実行し、デモモードを使用します (**Utility (ユーティリティ)**)。

トリガー位置

この T アイコンはトリガー位置を示します。**Trigger position (トリガー位置)** コントロールを調整すると移動できます。

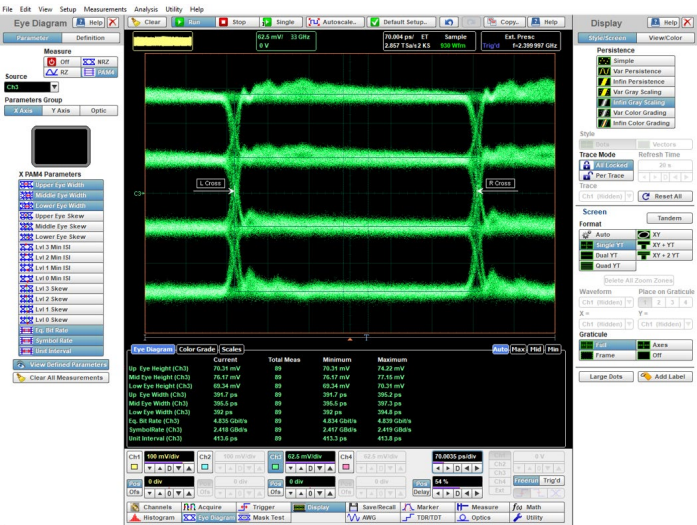
アイダイアグラムの測定結果

PicoScope 9400Aシリーズスコープは、ノンリタートトゥゼロ (NRZ) 信号、リタートトゥゼロ (RZ) 信号および4レベルのパルス振幅変調 (PAM4) 信号の特性評価に使用される70以上の基本パラメータを迅速に測定します。

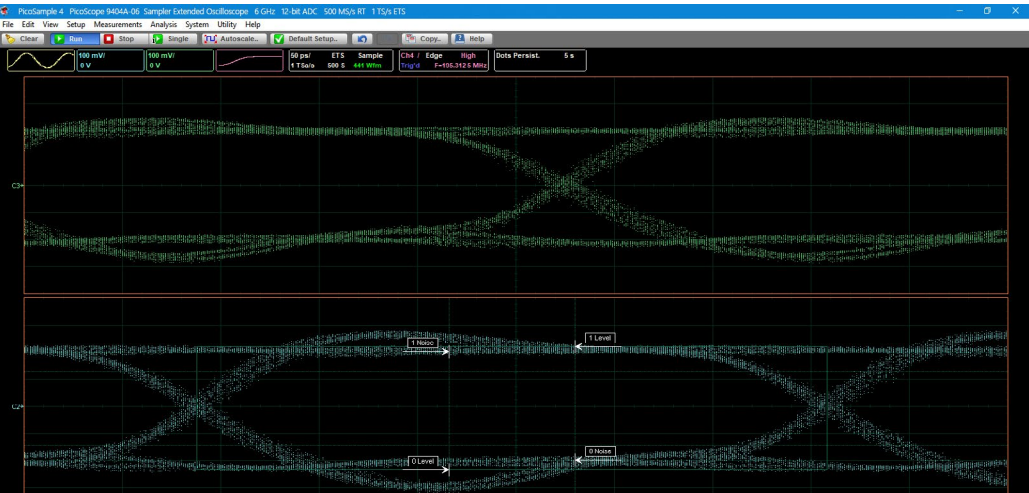


アイダイアグラム解析には、ビットレート、期間、交差時間、周波数、アイ幅、アイ振幅、平均、エリア、ジッター実効値 (RMS) などのデータが表示されます。グラフには、左・右実効値 (RMS) ジッターマーカーも表示されます。これらの測定結果は、アイダイアグラムのサイドメニューから選択可能で、グラフの下画面上に一覧表示されます。

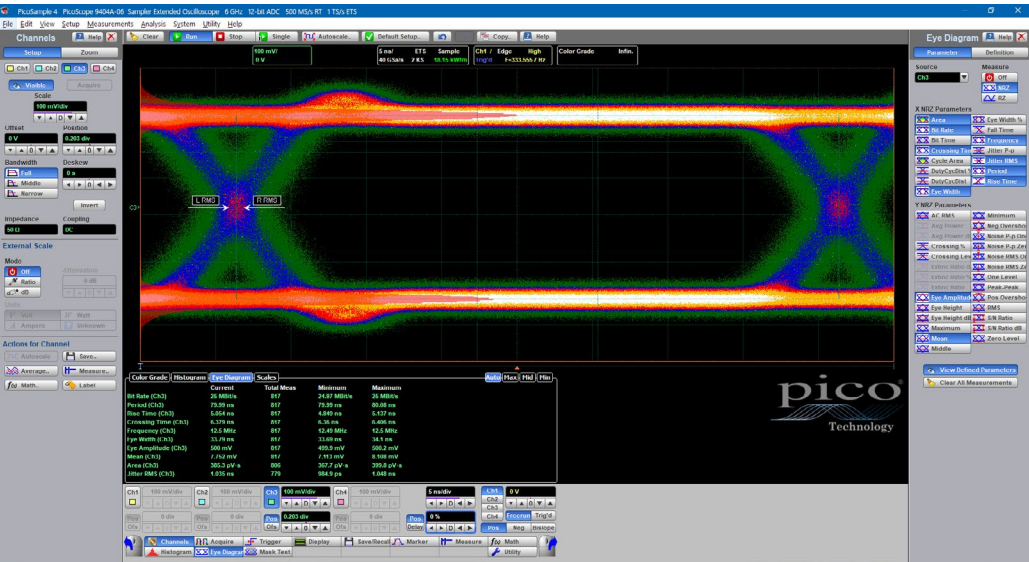
オプションで、各パラメータの生成に使用される測定ポイントおよびレベルをトレース上に表示できます。



PAM4信号のアイダイアグラム



最後に選択した測定パラメータの測定しきい値および境界が表示されます。



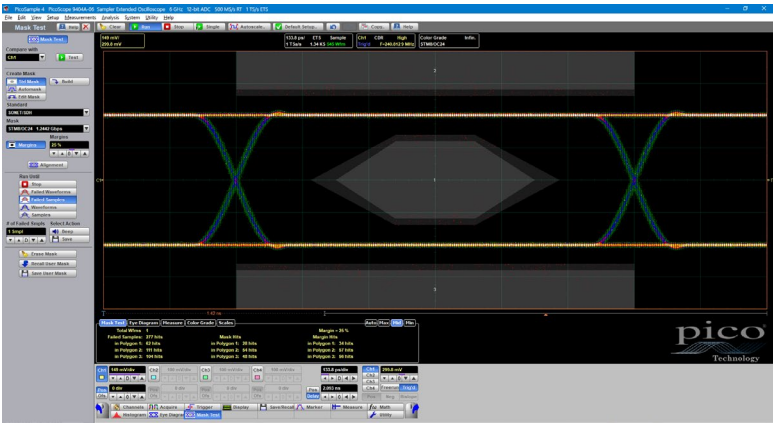
後述するように、アイダイアグラム解析は、マスクテストに加えて実行することでより強力な結果が得られます。

マスクテスト

PicoSample 4には、データアイのテスト用のマスク200以上にバイナリが内蔵されています。マスクヒットをカウント・捕捉したり、マスクヒットをアラームや取得コントロールにルートしたりできます。特定のマージンを使ってマスクに対してストレステストを実行することができます。ローカルでマスクをコンパイル・編集することも可能です。

ディスプレイはグレースケールかカラーグレードのいずれかのモードを選択できます。また、アイダイアグラムでのノイズやジッターの解析に役立つヒストグラム機能も選択できます。オリジナルマスクとマージンのエラー数を示す統計ディスプレイもあります。

内蔵テスト波形の拡張メニューは、ライブ信号に使用する前にマスクテスト設定を確認する上で非常に便利です。



強力な演算解析

Category

Arithmetic	Algebra
Trigonometry	FFT
Bit Operation	Miscellaneous
Formula Editor	

Operator

Sine	ASine
Cosine	ACosine
Tangent	ATangent
Cotangent	ACotangent
SineH	CosineH
TangentH	CotangentH

Category

Arithmetic	Algebra
Trigonometry	FFT
Bit Operation	Miscellaneous
Formula Editor	

Operator

AND	XOR
NAND	NXOR
OR	NOT
NOR	

Category

Arithmetic	Algebra
Trigonometry	FFT
Bit Operation	Miscellaneous
Formula Editor	

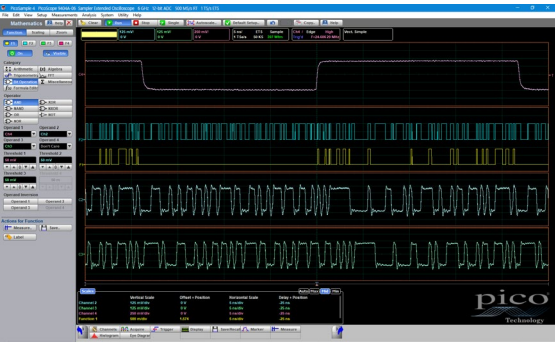
Operator

e^x Exp (e)	$\ln x$ Log (e)
10^x Exp (10)	$\lg x$ Log (10)
a^x Exp (a)	$\log x$ Log (a)
$\frac{d}{dx}$ Differentiate	$\int f(x)$ Integrate
x^2 Square	$\sqrt{x}$ Square Root
x^3 Cube	x^a Power (a)
$\frac{1}{x}$ Inverse	$\sqrt[n]{x}$ SqRt of the St

PicoScope 9400A シリーズのスコープは、取得した波形に対して最大4つの数学的な組み合わせや関数変換を同時にサポートします。

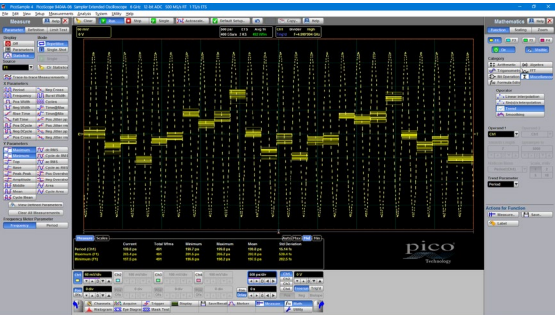
いずれかの演算関数を選択し、1 つまたは 2 つのソースで関数を実行できます。関数はすべてライブ波形、波形メモリ、または他の関数に対して実行できます。また、総合的な等式エディターを使って、ソース波形を様々に組み合わせてカスタム関数を作成できます。

- 60の数学関数から選択するか、またはオリジナルを作成します。
- 加法、減法、乗法、除法、反転、絶対値、指数、対数、微分、積分、反比例、FFT、補間、平滑化、トレンド、ブーリアン型ビット演算。



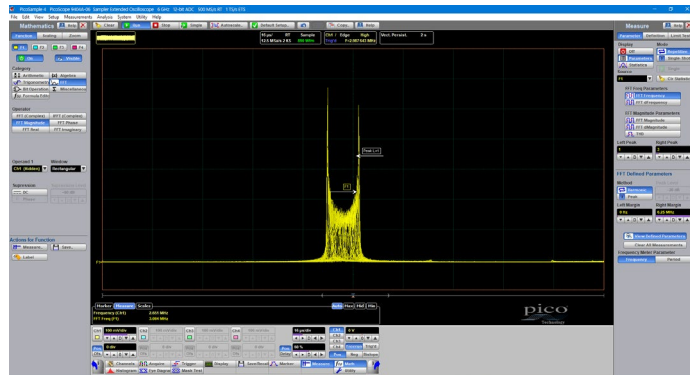
トレンド

トレンドでは、パルス幅、期間、移行時間などの測定した時間パラメーターを追加トレースとしてプロットできます。



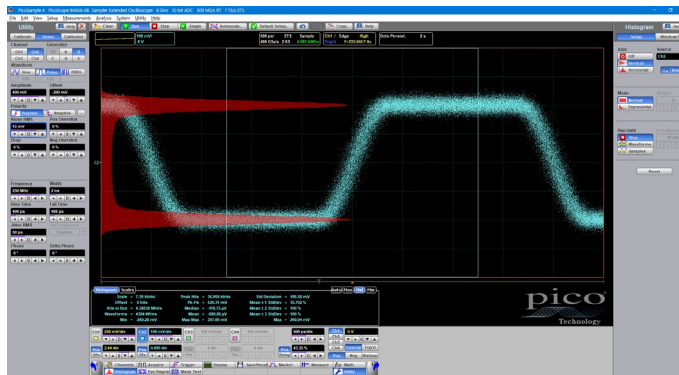
マスクテスト機能	マスク	マスク数			
		9404A-06	9404-16	9404A-25	9404A-33
- 事前定義の標準マスク - 自動マスク - ディスクに保存されたマスク - 新しいマスクを作成 - マスクを編集	SONET/SDH	8	15		23
	Ethernet	7	18		19
	ファイバーチャネル	23			31
	PCI Express	29			41
	InfiniBand	13	17		21
	XAUI			4	
	RapidIO			9	
	シリアルATA			24	
	ITU G.703			14	
	ANSI T1.102			7	
	USB	4			8
	CEI_OIF	該当なし			2
	SFF	該当なし			3

FFT解析



すべての PicoScope 9400A シリーズオシロスコープは、入力信号に対して、実数部、虚数部、および複素数の高速フーリエ変換 (FFT) および逆高速フーリエ変換 (IFFT) を、さまざまな窓関数を用いて計算することができます。結果は演算関数を使ってさらに処理できます。FFTは、クロストークやひずみの検出、フィルター回路の調整、システムインパルス応答のテスト、ノイズおよび干渉ソースの特定・検出などに有益です。

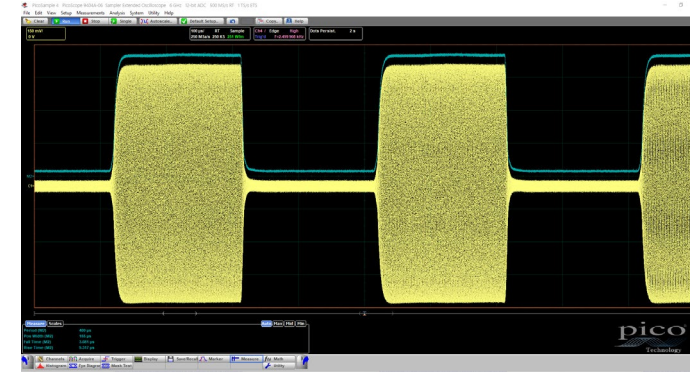
ヒストグラム解析



PicoScope 9400Aシリーズが強力な測定・表示能力を提供できるのは、高速かつ効率的なデータヒストグラム機能が搭載されているからです。装置の強力な可視化・解析ツールであるヒストグラムは、ユーザー定義ウィンドウ内のソースから取得したデータの分布を示す確率グラフです。

ヒストグラムは、垂直軸または水平軸のいずれかの波形上に構成できます。垂直ヒストグラムの最も一般的な使用例は、ノイズ・パルスパラメータの測定・解析です。水平ヒストグラムは、一般的にジッターの測定・解析に使用されます。

エンベロープの取得



パルスRFキャリアは当社のモダンな通信インフラの中核にあります。最終的なキャリアパルス（たとえばアンテナの位置）の形状、収差、タイミングは測定が難しいこともあります。復調を選択すると、復調器の限度（帯域幅とひずみ）が適用される可能性があります。

エンベロープ取得モードでは波形を取得して表示し、一定期間に反復された取得のピーク値が示されます。

上記のPicoScope 9404A-06 SXRT0は、2.4 GHzキャリアのパルス振幅をリアルタイムで捕捉したものです。

黄色いトレースは、100μ秒/区分のタイムベースで表示される2.4 GHzキャリアのエイリアスです。青いトレースは、明確にするためわずかにオフセットになっていますが、黄色いトレースの最大エンベロープキャプチャです。

エンベロープの波形は、キャリアエンベロープの最大エクスカージョンを示しており、そのパルスパラメータはその後、測定できます（画像の左下）。

この測定は、SXRT0 (500 MS/s) の最大リアルタイムサンプリングレートで限定されるため、ナイキスト復調帯域幅は250 MHzになります。オシロスコープの3つの他のチャンネルは、データの復調や、ソーシングRF電力増幅器への電源の電圧または電流供給などの監視で引き続き利用できます。

ソフトウェア開発キット (SDK)

PicoSample 4ソフトウェアは、スタンドアロン型オシロスコーププログラムとしても、ActiveXリモートコントロール下でも操作できます。ActiveXコントロールはWindows COMインターフェイス標準に適合しているため、お使いのソフトウェアに埋め込むことができます。ドライバーベースの複雑なプログラミング方法とは異なり、ActiveX コマンドはどんなプログラミング環境においても作成が容易なテキスト文字列となっています。プログラミング例は、Visual Basic (VB.NET)、MATLAB、LabVIEW、Delphi で提供されていますが、JavaScript、C、National など、COM インターフェイスをサポートするものであれば、どのようなプログラミング言語または標準でも使用できます。装置のLabVIEWドライバーも使えます。PicoScope 9400AおよびPicoSampleソフトウェアのすべての機能は、リモートでアクセスできます。

当社では、包括的なプログラマーズガイドも提供しており、ガイドではActiveXコントロールの様々な機能について詳細に説明しています。SDKは、USB または LAN ポートでオシロスコープをコントロールします。



用途

PAM4 (4レベルのパルス振幅変調) のメリットと課題

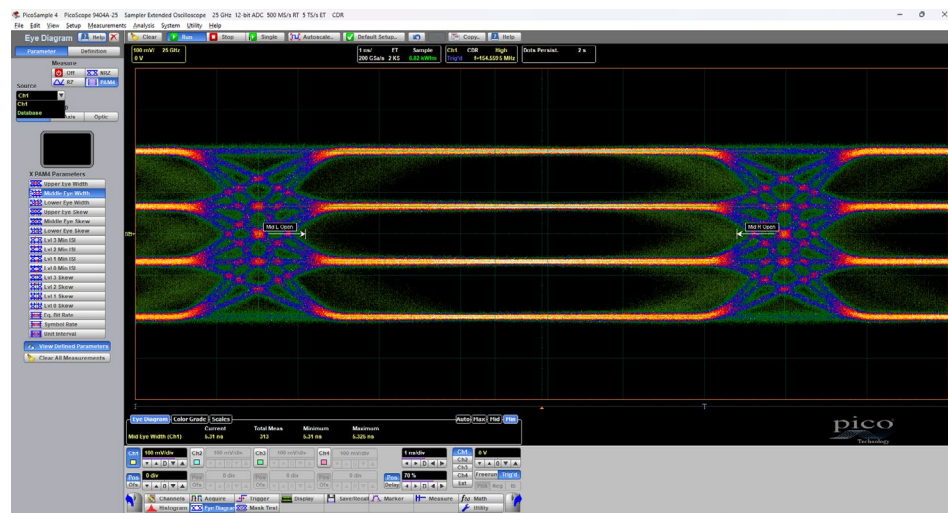
これまで、データ伝送を高速化する際、クロック周波数を上げることで対応していましたが、クロック速度が技術的な限界に近づく中で、より高速なデータ伝送へのニーズはますます高まっており、スループットを向上させるためには、これまでとは異なる新たな手法が求められるようになっていきます。

PAM4 に代表されるパルス振幅変調 (PAM) は、1シンボルあたりのビット数を増やすことでデータレートを向上させます。PAM4は、NRZのように単に0か1を送るのではなく、2ビットの情報を4つの振幅レベルにエンコードします。

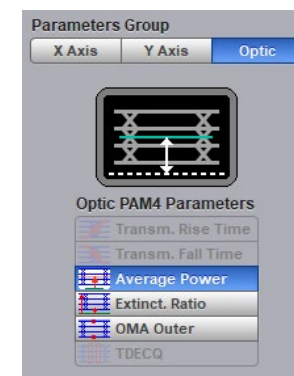
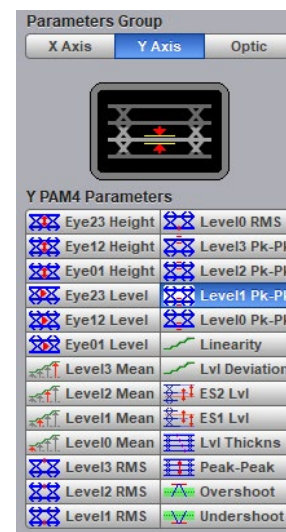
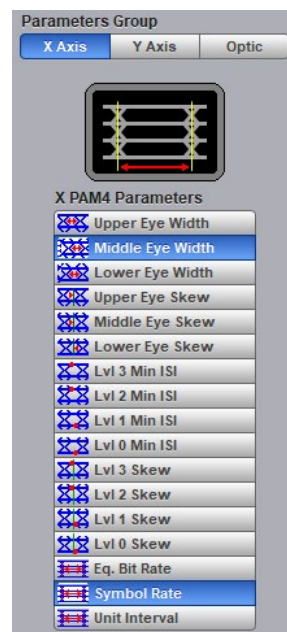
PAM4は、シンボルレートの要求を抑えることで、ジッターや立ち上がり時間といったタイミングに関する仕様の一部を緩和できますが、PAM4には課題も存在します。振幅レベルが近くなるにつれて、ノイズによって生じるシンボル間干渉の影響はより顕著になります。

複数の異なる信号レベル間の遷移が存在することで、アイ開口の不均一化、スキュー、非対称なアイパターンが生じ、復号が困難になるため、ボーレートを維持するためにはより慎重な設計が求められます。

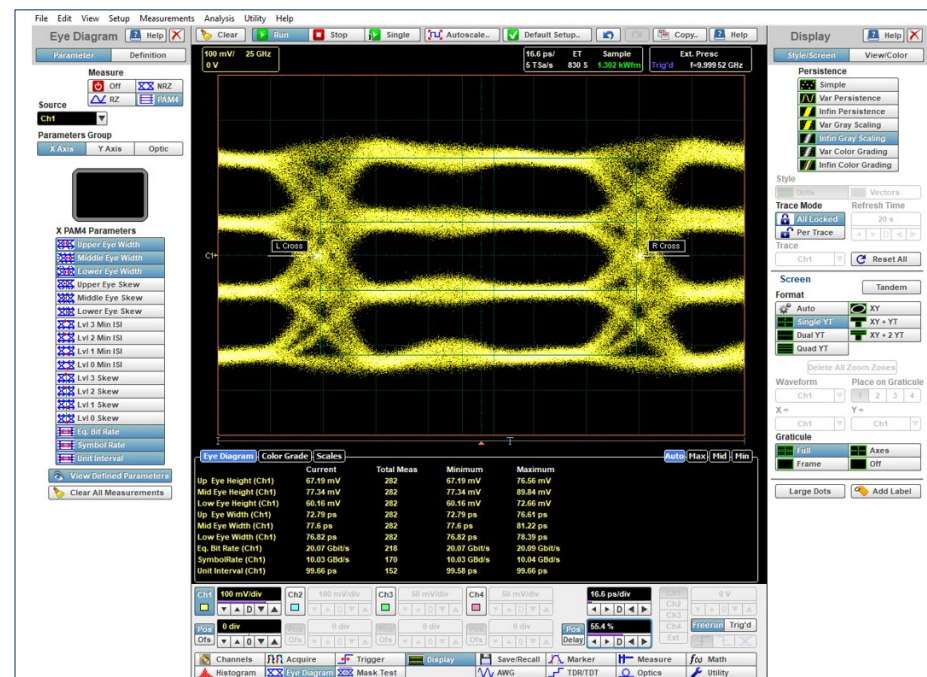
PicoSample 4は、PAM4アイダイアグラム用の49種類の自動測定機能を包括的に搭載しており、PAM4物理層のあらゆる側面を確実に把握できます。



PAM4波形をデータベースに保存し、ライブデータと記録済みデータの両方を画面上に重ねて表示可能。両データセットの測定結果を比較することで、設計変更を迅速に定量化することが可能。



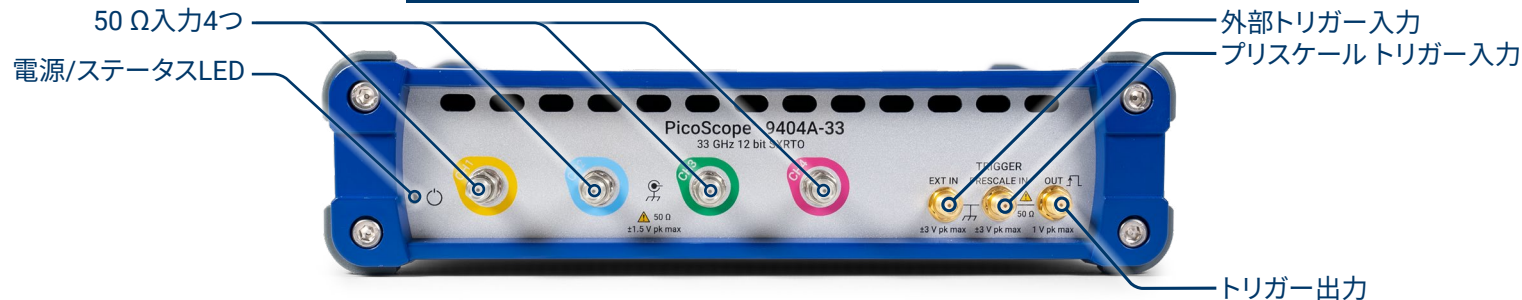
17種類の時間測定、26種類のレベル測定、6種類の光学測定により、水平、垂直、光学パラメータを自動測定。



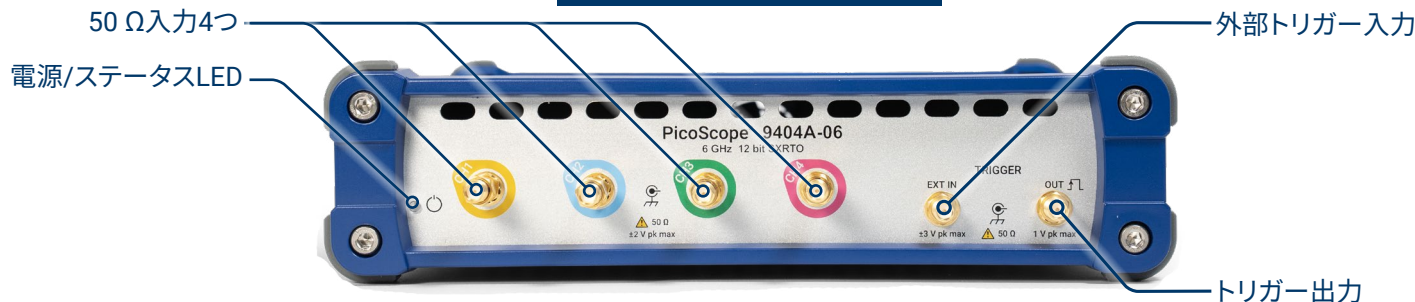
20 Gb/s超のデータレートを持つPAM波形に対して、最大10個のパラメータを同時に測定し、重要な信号特性を示すマーカーを表示

PicoScope 9404Aモデル:入力、出力、およびインジケータ

9404A-16、-25および-33 GHzの前面パネル



9404A-06前面パネル



背面パネル (全モデル)



電源/ステータス/トリガーLED:通常運転中は緑。接続の進捗状況およびトリガーを表します。

チャンネル入力:チャンネル数をいくつにしてもサンプリングレートに影響はありません。有効チャンネル間で共有されるのは捕捉メモリ (250 kS) のみです。

外部入力:外部ダイレクトトリガー (最大6 GHz)

プリスケール:20 GHz外部プリスケールトリガー

トリガー出力:外付け装置をPicoScope 9400Aの立ち上がりエッジ、立ち下がりエッジ、またはホールドオフ終了トリガーに同期させることができます。

USB:USB 2.0ポート (USB3.0にも対応) は、オシロスコープとPCの接続に使用します。USBホストが見つからない場合、オシロスコープはLANポートからの接続を試行しています。

LAN:LAN設定は、最初はUSBポートに接続して行う必要があります。構成が終了すると、オシロスコープはUSBホストが検出されない場合にLANを使用します。

最大8台までのPicoScope 9400Aユニットのうち、1台をPicoSample 4ソフトウェアから制御することができます。

CLK & データ:現在選択されているトリガースソースから回復したクロックとデータ、および内蔵クロック回復モジュール (オプション)。

12 V DC:電源入力。オシロスコープに同梱されている接地主電源アダプターのみを使用してください。

PicoScope 9400Aの仕様

		PicoScope 9404A-06	PicoScope 9404A-16	PicoScope 9404A-25	PicoScope 9404A-33
垂直					
入力チャンネル数		4			
		チャンネルすべては同一で、同時にデジタル化されます			
アナログ帯域幅 (-3 dB) †	*全帯域幅	DC～6 GHz	DC～16 GHz	DC～25 GHz	DC～33 GHz
	中間帯域幅	DC～500 MHz	DC～500 MHz	該当なし	該当なし
	狭帯域幅	DC～100 MHz	DC～100 MHz	DC～18 GHz	
通過帯域平坦度		±1 dB～3 GHz	±1 dB～12 GHz	±1 dB～4 GHz	±1 dB～8 GHz
算出された立ち上がり時間 (Tr)、代表値	全帯域幅	10%～90%: ≤ 58.3 ps 20%～80%: ≤ 41.7 ps	10%～90%: ≤ 21.9 ps 20%～80%: ≤ 15.6 ps	10%～90%: ≤ 14 ps 20%～80%: ≤ 10 ps	10%～90%: ≤ 10.6 ps 20%～80%: ≤ 7.6 ps
	中間帯域幅	10%～90%: ≤ 700 ps 20%～80%: ≤ 500 ps	10%～90%: ≤ 700 ps 20%～80%: ≤ 500 ps	該当なし	
	狭帯域幅	10%～90%: ≤ 3.5 ns 20%～80%: ≤ 2.5 ns	10%～90%: ≤ 3.5 ns 20%～80%: ≤ 2.5 ns	10%～90%: ≤ 19.4 ps 20%～80%: ≤ 13.9 ps	該当なし
	帯域幅から算出: 10%～90%: Trから算出 = 0.35/BW、20%～80%: Trから算出 = 0.25/BW				
実効値 (RMS) ノイズ	*全帯域幅	1.8 mV (最高)、1.6 mV (代表値)	2.4 mV (最高)、2.2 mV (代表値)	2.8 mV (最高)、2.7 mV (代表値)	2.9 mV (最高)、2.8 mV (代表値)
	中間帯域幅	0.9 mV (最高)、0.75 mV (代表値)		該当なし	
	狭帯域幅	0.7 mV (最高)、0.6 mV (代表値)		2.5 mV (最高)、2.3 mV (代表値)	該当なし
スケール係数 (感度)		10 mV/div～250 mV/div。			10 mV/div～200 mV/div。
		10-12.5-15-20-25-30-40-50-60-80-100-125-150-200-250 mV/divシーケンスで調整可能。 1%の微細増分またはそれ以上に調整可能。 手動、または計算機データ入力では、増分は0.1 mV/divです。			
*DCゲイン精度		フルスケールの±1.5% (保証値)、フルスケールの±1.0% (代表値)		フルスケールの±2.0% (保証値)、フルスケールの±1.5% (代表値)	フルスケールの±2.5% (保証値)、フルスケールの±2.0% (代表値)
位置範囲		画面中央から±4目盛			
DCオフセット範囲		10 mV (粗増分) または2 mV (微細増分) で-1 V～+1 Vで調整可能。			-800 mV～+800 mVまで調整可能。
		手動または計算機によるデータ入力時、オフセットが -99.9 ～ +99.9 mV の範囲では 0.01 mV 単位で、それ以外の範囲では 0.1 mV 単位で調整可能。 ディスプレイ十字線の中心を基準。			
*オフセット精度		最大で±2mVまたはオフセット設定値の±1.5%、いずれか大きい方。標準で±1mVまたはオフセット設定値の±1%、いずれか大きい方		最大で±2mVまたはオフセット設定値の±2.0%、いずれか大きい方。標準で±1mVまたはオフセット設定値の±1%、いずれか大きい方	
動作入力電圧		±1 V		±800 mV	
垂直ズーム・位置		入力チャンネル、波形メモリ、関数すべて 垂直係数: 0.01 ～ 100 垂直位置: 最高でズーム波形の±800目盛			
チャンネル間のクロストーク (チャンネル分離)		入力周波数DC～1 GHzで≥ 50 dB (316:1) 入力周波数> 1 GHz～3 GHzで≥ 40 dB (100:1)			TBD
		入力周波数> 3 GHz～5 GHz: ±36dB (63:1)	入力周波数> 3 GHz～16 GHz: ±36dB (63:1)	入力周波数> 3 GHz～16 GHzで≥ 40 dB (100:1) 入力周波数> 16 GHz～25 GHzで≥ 36 dB (63:1)	
チャンネル間の遅延		≤ 10 ps (代表値)、いずれかの2つのチャンネル間、全帯域幅、ランダムサンプリング			
ADC解像度		12ビット			
ハードウェア垂直解像度		平均化なしで0.5 mV/LSB		平均化なしで0.4 mV/LSB	

	PicoScope 9404A-06	PicoScope 9404A-16	PicoScope 9404A-25	PicoScope 9404A-33
過電圧保護	±1.4 V DC + ACピーク		±1.5 V DC + ACピーク	
*入力インピーダンス	(50 ± 1.5) Ω(50 ±1) Ω、代表値			
入力一致	立ち上がり時間70 psの反射:10%以下	立ち上がり時間50 psの反射:10%以下	立ち上がり時間20 psの反射:10%以下	
入力カップリング	DC			
入力コネクター	SMA (f)		2.92 mm (K) メス (SMA対応)	
減衰				
チャンネル入力に接続された外付け減衰器用にオシロスコープを測定する際、減衰係数を入力できます。				
範囲	0.0001:1〜1 000 000:1			
単位	比率またはdB			
スケール	ボルト、ワット、アンペア、または不明			
水平				
タイムベース	内部タイムベースはすべての入力チャンネルに共通。			
タイムベース範囲 (水平フルスケールは10目盛)	50 ps/div〜1000 s/div	20 ps/div〜1000 s/div	10 ps/div〜1000 s/div	
リアルタイムサンプリング	10 ns/div〜1000 s/div			
ランダム等価時間サンプリング	50 ps/div〜5 μs/div	20 ps/div〜5 μs/div	10 ps/div〜5 μs/div	
ロール	100 ms/div〜1000 s/div			
セグメント化	セグメント数合計:2 ～ 1024。セグメント間のリアーム時間:<3 μs (トリガーホールドオフ設定による)			
水平ズームおよび位置	入力チャンネル、波形メモリ、関数すべて 水平係数:1〜2000 水平位置:非ズーム波形の0%〜100%			
タイムベースクロック精度	頻度:10 MHz			
初期設定許容範囲 (25 ± 3 °C)	±0.5 ppm			
全般的な周波数安定性 (動作温度範囲)	±2 ppm			
経年変化 (25 °C 10年間以上)	±3 ppm			
タイムベース解像度 (ランダムサンプリング)	1 ps	0.4 ps	0.2 ps	
* 差分時間測定精度	±(0.5 ppm *読み取り値 + 0.1% * スクリーン幅 + 2 ps)			
プレトリガー遅延	可変遅延時間0での最大レコード長/現在のサンプリングレート			
ポストトリガー遅延	0〜4.28秒。粗増分は水平スケール目盛1、微細増分は水平スケール目盛0.1、手動または計算機増分は水平スケール目盛0.01。			
チャンネル間のデスキュー範囲	±50 ns。粗増分は100 ps、微細増分は10 psです。手動、または計算機データ入力では、増分は有効数字4つ、または1 ps。			
取得				
サンプリングモード	リアルタイム	1つのトリガーイベントの間に波形を再構築するのに使用するサンプルポイントすべてを捕捉します		
	ランダム	入力波形を反復波形にするため、複数のトリガーイベントを通してサンプルポイントを取得します		
	ロール	取得データは、ディスプレイの右側から開始してディスプレイの左側に続いていくロール形式で表示されます (取得実行中)		
	セグメント化	セグメントメモリは、アクティビティ間のリアーム時間が長いデータストリームに対して、利用可能なメモリを最適化。 セグメント数:最大1024。 各セグメントには絶対時刻とデルタ時刻を記録。		

		PicoScope 9404A-06	PicoScope 9404A-16	PicoScope 9404A-25	PicoScope 9404A-33
最高サンプルレート	リアルタイム	チャンネルごとに500 MS/s (同時)			
	ランダム	最大1 TS/s、または1 psのトリガー配置分解能	最大2.5 TS/s、または0.4 psのトリガー配置分解能。	最大5TS/s、または0.2psのトリガー配置分解能。	
レコード長	リアルタイム	1チャンネルで50 S/ch〜250 kS/ch、2チャンネルで〜125 kS/ch、3および4チャンネルで〜50 kS/ch。			
	ランダム	1チャンネルで500 S/ch〜250 kS/ch、2チャンネルで〜125 kS/ch、3および4チャンネルで〜50 kS/ch。			
最高リアルタイムサンプリングレートでの時間		1チャンネルで0.5 ms、2チャンネルで0.25 ms、3および4チャンネルで0.125 ms			
取得モード	サンプル (通常)	デシメーション間隔で最初のサンプルを取得し、さらに処理することなく結果を表示します			
	平均	デシメーション間隔内のサンプルの平均値。平均の波形数:2 ～ 4096。			
	エンベロープ	取得した波形のエンベロープ。1つ、または1つ以上の取得による最低値、最高値、または最低値・最高値両方。取得数は、2シーケンスおよび連続で2～4096。			
	ピーク検出	デシメーション間隔内の最大および最小サンプル。最小パルス幅:1/ (サンプリングレート) または2 ns @ 50 μs/div、または1チャンネルでより高速。			
	高解像度	取得間隔でのすべてのサンプルを平均し、レコードポイントを作成します。この平均により、高解像度・低周波数の波形となります。解像度は、12.5ビット以上 (最大16ビット) に上げることができます。			
	セグメント化	セグメント数:1～1024、リアーム時間:<3 μsまたはユーザー定義のホールドオフ時間のうち、いずれか長い方 (トリガーイベント間の最小時間)。選択したセグメント、オーバーレイのセグメント、または選択・オーバーレイのセグメントを表示することができます。セグメントの検索:ステップ実行、ゲートブロック、二分検索。セグメントはデルタで、絶対時間スタンプが付いています。			
トリガー					
トリガーソース		内部 (4チャンネルのいずれか)、外部直接、外部プリスケール			
トリガーモード	フリーラン	自動でトリガーをかけますが、トリガーイベントがない場合は入力に同期されます。			
	通常 (トリガー済み)	オシロスコープにトリガーをかけるため、トリガーイベントが必要となります。			
	シングル	トリガーイベントで1度のみトリガーをかけるソフトウェアボタン。ランダムサンプリングには適していません。			
トリガーホールドオフモード		時間またはランダム			
トリガーホールドオフ範囲		時間によるホールドオフ:1-2-5-10のシーケンス、または微細増分4 nsで、500 ns～15 sで調整可能。 ランダム:このモードでは、トリガー間で時間値をランダム化することにより、1つの取得から別の取得へとトリガーホールドオフを変化させます。ランダム化された時間値は、最小ホールドオフと最大ホールドオフに指定した値の間の値にすることができます。			
内部トリガー					
トリガースタイル	エッジ	いずれかのソース (周波数範囲DC～2.5 GHz) の立ち上がりエッジおよび立ち下がりエッジでトリガーをかけます。			
	ディバイダー	トリガーシステムに適用される前に、トリガーソースは4分割 (/4) されます。最大トリガー周波数は6 GHzです。			
	クロック復元 (オプション)	復元クロックの立ち上がりエッジでトリガー。 6.5 Mb/s～5 Gb/s 6.5 Mb/s～8 Gb/s 6.5 Mb/s～11.3 Gb/s			
帯域幅および感度	低感度	100 mV p-p DC～100 MHz、100 MHzで100 mV p-pから6 GHzで200 mV p-pに直線的に増加。パルス幅:200 mV p-p (代表値) で80 ps			
	*高感度	30 mV p-p DC～100 MHz、100 MHzで30 mV p-pから6 GHzで70 mV p-pに直線的に増加。パルス幅:70 mV p-pで80 ps			
レベル範囲		増分10 mV (粗増分) で-1 V～+1 V。1 mVの微細増分でも調整可能。			
エッジトリガースロープ		正: 立ち上がりエッジでトリガー 負: 立ち下がりエッジでトリガー バイスロープ: 信号の両方のエッジでトリガー			
*実効値 (RMS) ジッター (トリガーと補間器ジッターを組み合わせ。)		最大で、1.5 ps + 遅延の0.1 ppm 1.2 ps + 遅延の0.1 ppm (代表値) エッジトリガーでは 2.5 GHz / 600 mV p-p の正弦波で、分周トリガーでは 6 GHz / 600 mV p-p の正弦波でテスト済み。			
		クロック回復トリガー (オプション) :2 ps + ユニット間隔の1.0% + 遅延0.1 ppm、最大			
カップリング		DC			

		PicoScope 9404A-06	PicoScope 9404A-16	PicoScope 9404A-25	PicoScope 9404A-33
外部プリスケールトリガー					
カップリング		該当なし	50 Ω、ACカップリング、固定レベルゼロボルト		
*帯域幅および感度			100 mV p-p、1 GHz～16 GHz		100 mV p-p、1 GHz～20 GHz
*実効値 (RMS) ジッター			1.5 ps (最大)、1.2 ps (代表値) > 5 V/nsのトリガー入カスロープ。トリガーと補間器ジッターを組み合わせ。		
プリスケール比率			8で分割、固定		
最大安全入力電圧			±3 V (DC + ACピーク)		
入カコネクター			SMA (f)		
外部直接トリガー					
スタイル	エッジ	いずれかのソース (DC～2.5 GHz) の立ち上がりエッジおよび立ち下がりエッジでトリガーをかけます。			
	ディバイダー	トリガーシステムに入力される前に、トリガーソースは4つに分割されます。 最大トリガー周波数は6 GHzです。			
	クロック復元 (オプション)	復元クロックの立ち上がりエッジでトリガー			
6.5 Mb/s～5 Gb/s		6.5 Mb/s～8 Gb/s	6.5 Mb/s～11.3 Gb/s		
カップリング		DC			
帯域幅および感度	*低感度	100 mV p-p DC～100 MHz。 100 MHzで100 mV p-pから6 GHzで200 mV p-pに直線的に増加。 パルス幅: 200 mV p-p (代表値) で80 ps			
	高感度	30 mV p-p DC～100 MHz。 100 MHzで30 mV p-pから6 GHzで70 mV p-pに直線的に増加。 パルス幅: 70 mV p-pで100 ps			
レベル範囲		-1 V～1 V。 10 mVの粗増分。 1 mVの微細増分。			
スロープ		立ち上がり、立ち下がり、バイスロープ			
*実効値 (RMS) ジッター、エッジおよびディバイデッド		最大で、1.5 ps + 遅延の0.1 ppm。 1.2 ps + 遅延の0.1 ppm (代表値) エッジトリガーでは 2.5 GHz / 600 mV p-p の正弦波で、分周トリガーでは 6 GHz / 600 mV p-p の正弦波でテスト済み。			
実効値 (RMS) ジッター、クロック回復 (オプション)		2 ps + ユニット間隔の1.0% + 最高で遅延の0.1 ppm			
最大安全入力電圧		±3 V (DC + ACピーク)			
入カコネクター		SMA (f)			
ディスプレイ					
パーシスタンス		シンプル: パーシスタンスなし 可変パーシスタンス: 各データポイントがディスプレイ上に保持される時間。パーシスタンス時間は、100 ms～20秒に変更可能。 常時パーシスタンス: このモードでは、波形サンプルポイントが常時表示されます。 可変グレースケール: 1つの色の彩度および光度を5つのレベルに変更することができます。更新時間は、1秒～200秒に変更可能。 常時グレースケール: このモードでは、波形サンプルポイントが1つの色が5レベルのいずれかで常時表示されます。 可変カラーグレード: カラーグレードを選択すると、履歴タイミング情報が温度またはスペクトル色で表され、急速に変化する波形に関する「z軸」情報が提供されます。更新時間は、1～200秒に変更可能。 常時カラーグレード: このモードでは、波形サンプルポイントが温度またはスペクトル色で常時表示されます。			
スタイル		ドット: 残像なしで波形を表示し、そのチャンネルで前に取得された記録が新しい波形記録に変わります。 ベクトル: この機能では、ディスプレイ上のデータポイントを通る直線を描画します。アイダイアグラムのように複数の値を持つ信号には適しません。			
十字線		Full (フル) グリッド、チェックマーク付きの Axes (軸)、チェックマーク付きの Frame (フレーム)、Off (オフ) (十字線なし)			

	PicoScope 9404A-06	PicoScope 9404A-16	PicoScope 9404A-25	PicoScope 9404A-33
形式	自動:表示する波形の増減に応じて、自動で十字線を配置、追加、削除します。 シングルXT:すべての波形が重ねて表示され、高さが8目盛となります。 デュアルYT:2つの十字線で、すべての波形の高さが4目盛となり、別個に、または重ねて表示されます。 クアッドYT:4つの十字線で、すべての波形の高さが2目盛となり、別個に、または重ねて表示されます。 デュアルまたはクアッドスクリーンディスプレイを選択すると、波形チャンネル、メモリ、機能すべては指定した十字線に配置されます。 XY:2つの波形の電圧をそれぞれの波形に対して表示します。最初の波形の振幅は水平X軸に描画され、2番目の波形の振幅は垂直Y軸に描画されます。 XY + YT:XYおよびYTの図を両方表示します。YT形式は画面の上部に、XY形式は画面の下部に表示されます。YT形式のディスプレイエリアは1画面となり、波形はすべて重ねて表示されます。 XY + 2YT:YTおよびXYの図を両方表示します。YT形式は画面の上部に、XY形式は画面の下部に表示されます。YT形式のディスプレイエリアは、2つに等分されます。 縦列:十字線を左右に表示します。			
色	デフォルトのカラーを選択するか、またはオリジナルのカラーを設定できます。選択した項目 (背景、チャンネル、波形メモリ、FFT、TDR/TDT、ヒストグラム) の表示に別の色を使用できます。			
トレース注釈	波形表示にラベルを指定して、テキストを追加できます。各波形に対し、複数のラベルを作成し、すべてのオン/オフを切替えることができます。また、ドラッグして、または水平位置を指定して、波形上に配置できます。			
保存/呼び出し				
管理	設定、波形、ユーザーマスクファイルをPCのドライブに保存して呼び出します。容量は、ディスクの空き容量になります。			
ファイル拡張子	波形ファイル:バイナリ形式の場合は.wfm、冗長形式 (テキスト) の場合は.txt、Y値形式 (テキスト) の場合は.txty データベースファイル:.wdb 設定ファイル:.set ユーザーマスクファイル:.pcm			
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 7、8、10 (32 ビット & 64 ビット)、Windows 11 (64 ビット)			
波形の保存/呼び出し	波形メモリ(M1～M4)には最大4つの波形を保存し、後で呼び出して表示できます。			
ディスクへ保存/ディスクから呼び出し	PCのドライブに取得した波形を保存したり、またはドライブから取得した波形を呼び出したりできます。波形を保存するには、ダイアログボックスに従って標準的なWindowsの[保存]を使用します。このダイアログボックスから、サブディレクトリや波形ファイルを作成したり、既存の波形ファイルに上書きしたりできます。 以前に保存した波形のファイルを波形メモリに読み込み、呼び出して表示できます。			
設定の保存/呼び出し	メモリに設定全体を保存して、後で呼び出すことができます。			
スクリーンの画像	以下の形式で、スクリーンの画像をクリップボードにコピーすることができます。フルスクリーン、フルウィンドウ、クライアントパート、反転クライアントパート、オシロスコープスクリーン。			
オートスケール	オートスケールキーを押すと、垂直チャンネル、推計スケール係数、トリガーレベルが自動で調整され、入力に適用された信号に合わせて表示されます。 オートスケール機能を使用する場合、100 Hz以上の周波数の反復信号、デューティサイクルが0.2%以上、振幅が100 mVp-p以上である必要があります。オートスケールは比較的安定した入力信号にのみ使用できます。			
マーカー				
マーカーの種類	X-マーカー:垂直バー (時間を測定) Y-マーカー:水平バー (電圧を測定) XY-マーカー:波形マーカー			
マーカー測定	絶対値、差分、電圧、時間、周波数、スロープ			
マーカーの動き	独立:両方のマーカーを別個に調整できます。 ペア:両方のマーカーを一緒に調整します。			
レシオメトリック測定結果	測定値と参照値の間のレシオ測定結果を提供します。結果は%、dB、度などのレシオメトリック単位で表されます。			
測定				
自動測定	最大10件の同時測定に対応します。			
自動パラメーター	53の自動測定が可能です。			
振幅測定	最高、最低、トップ、ベース、ピークピーク、振幅、中間、平均、サイクル平均、DC実効値 (RMS)、サイクルDC実効値 (RMS)、AC実効値 (RMS)、サイクルAC実効値 (RMS)、正のオーバーシュート、負のオーバーシュート、エリア、サイクルエリア。			

		PicoScope 9404A-06	PicoScope 9404A-16	PicoScope 9404A-25	PicoScope 9404A-33
タイミング測定		期間、周波数、正の幅、負の幅、立ち上がり時間、立ち下がり時間、正のデューティサイクル、負のデューティサイクル、正の交差、負の交差、バースト幅、サイクル、最高の時間、最低の時間、正のジッターp-p、正のジッター実効値 (RMS)、負のジッターp-p、負のジッター実効値 (RMS)。			
信号間測定		遅延 (8オプション)、フェーズDeg、フェーズRad、フェーズ%、ゲイン、ゲインdB。			
FFT測定		FFT振幅、FFT差分振幅、THD、FFT周波数、FFT差分周波数。			
測定値統計		表された波形測定結果に現在値、最低、最高、平均、標準偏差を表示します。			
トップベース定義方法		ヒストグラム、最小/最大、またはユーザー定義 (絶対電圧で)。			
しきい値		上限、中間、下限の水平バーを設定可能 (パーセント、電圧、または目盛)。標準しきい値は、10-50-90%または20-50-80%。			
マージン		波形の領域は、左右のマージン (垂直バー) を使った測定用に分離することができます。			
測定モード		反復またはシングルショット			
カウンター (内蔵周波数カウンター)	ソース	内部 (4チャンネルのいずれか)、外部、外部プリスケール			
	分解能	7桁			
	最大周波数	内部または外部直接トリガー : 6 GHz			
		外部プリスケールトリガー:該当なし	外部プリスケールトリガー:16 GHz	外部プリスケールトリガー:20 GHz	
	測定結果	周波数、期間			
時間基準		内部250 MHz基準クロック			
演算					
波形演算		最大4つの演算波形を定義して、数学関数F1〜F4を使って表示することができます			
カテゴリおよび演算子		演算: 加法、減法、乗法、除法、切り上げ、切り捨て、不動点、四捨五入、絶対値、反転、コモン、リスケール 代数: 累乘法 (e)、累乘法 (10)、累乗方 (a)、対数 (e)、対数 (10)、対数 (a)、微分、積分、平方、平方根、三乗、指数(a)、反転、二乗和平方根 三角法: 正弦、余弦、正接、余接、逆正弦、逆余弦、逆正接、逆余接、双曲正弦、双曲余弦、双曲正接、双曲余接 FFT: 複素数FFT、FFT振幅、FFT位相、FFT実部、FFT虚部、複素逆FFT、FFT群遅延 ビット演算子: AND、NAND、OR、NOR、XOR、XNOR、NOT その他: トレンド、線形補間、サイン補間/シンク補間、スムージング 式エディター: エディターコントロールウィンドウを使って、演算波形を構築できます。			
オペランド		いずれかのチャンネル、波形メモリ、数学関数、スペクトル、定数を2つのオペランドのうち1つのソースとして選択できます。			
FFT		FFT周波数スパン: 周波数スパン = サンプルレート / 2 = レコード長 / (2 × タイムベース範囲) FFT周波数解像度: 周波数解像度 = サンプルレート / レコード長 FFT窓: 内蔵フィルター (矩形窓、ハミング窓、ハン窓、フラットトップ窓、ブラックマン - ハリス窓、カイザー - ベッセル窓) により、周波数解像度、過渡信号、振幅精度を最適化できます。 FFT測定: 周波数、差分周波数、振幅、差分振幅においてマーカー測定を行うことができます。周波数、差分周波数、振幅、差分振幅においてマーカー測定を行うことができます。 自動FFT測定結果には以下が含まれます: FFT振幅、FFT差分振幅、THD、FFT周波数、FFT差分周波数。			
ヒストグラム					
軸		垂直または水平。水平・垂直ヒストグラムでは、定期的に測定結果が更新され、信号の任意の領域の統計的分布を解析できます。			
測定設定		スケール、オフセット、ボックス内ヒット、波形、ピークヒット、Pk-Pk、中央値、平均、標準偏差、平均±1標準偏差、平均±2標準偏差、平均±3標準偏差、最小値、最大-最大、最大値			
ウィンドウ		ヒストグラムウィンドウでは、ヒストグラムの描画に使用するデータベースの部分を選択します。スコープの水平・垂直方向のスケール上限に従って、ヒストグラムウィンドを好きなサイズに設定できます。			
アイダイアグラム					
アイダイアグラム		PicoScopeは、自動でNRZおよびRZアイパターンを解析できます。波形の統計解析に基づいて測定が行われます。			
NRZ測定	X 軸	エリア、ビットレート、ビット時間、交差時間、サイクルエリア、デューティサイクルひずみ (%、秒)、アイ幅 (%、秒)、立ち下がり時間、周波数、ジッター (p-p、実効値 (RMS))、期間、立ち上がり時間			
	Y 軸	ACRMS、交差%、交差レベル、アイ振幅、アイ高、アイ高dB、最大、平均、中間、最小、負のオーバーシュート、ノイズp-p (1、0)、ノイズ実効値 (RMS) (1、0)、ワンレベル、ピークピーク、正のオーバーシュート、実効値 (RMS)、信号雑音比、信号雑音比dB、ゼロレベル			

		PicoScope 9404A-06	PicoScope 9404A-16	PicoScope 9404A-25	PicoScope 9404A-33	
RZ測定	X 軸	エリア、ビットレート、ビット時間、サイクルエリア、アイ幅 (%、秒)、立ち下がり時間、ジッターP-p (立ち下がり、立ち上がり)、ジッター実効値 (RMS) (立ち下がり、立ち上がり)、負の交差、正の交差、正のデューティサイクル、パルス対称、パルス幅、立ち上がり時間				
	Y 軸	ACRMS、コントラスト比 (dB、%、比)、アイ振幅、アイ高、アイ高dB、アイ開口係数、最大、平均、中間、最小、ノイズP-p (1、0)、ノイズ実効値 (RMS) (1、0)、ワンレベル、ピーク-ピーク、RMS、信号雑音比、ゼロレベル				
PAM4測定	X 軸	上アイ幅、中アイ幅、下アイ幅、上アイスキュー、中アイスキュー、下アイスキュー、Lv.3 最小 ISI、Lv.2 最小 ISI、Lv.1 最小 ISI、Lv.0 最小 ISI、Lv.3 スキュー、Lv.2 スキュー、Lv.1 スキュー、Lv.0 スキュー、等化ビットレート、シンボルレート、単位時間				
	Y 軸	Eye23高さ、Eye12 高さ、Eye01高さ、Eye23レベル、Eye12 レベル、Eye01レベル、Level3平均電圧、Level2平均電圧、Level1平均電圧、Level0平均電圧、Level3 RMS、Level2 RMS、Level1 RMS、Level0 RMS、Level3 Pk-Pk、Level2 Pk-Pk、Level1 Pk-Pk、Level0 Pk-Pk、直線性、Lv偏差、ES2 Lv、ES1 Lv、Lv厚み、ピーク間電圧、オーバーシュート、アンダーシュート				
	光学	伝送立ち上がり時間、伝送立ち下がり時間、平均光パワー、消光比、OMAアウター、TDECQ				
マスクテスト						
マスクテスト		取得した信号のテストを行い、最大8つの多角形で指定したエリア外に適合させます。多角形境界内にサンプルがあると、テストは失敗になります。マスクはディスクから読み込んだり、自動・手動で作成したりできます。				
標準マスク	SONET/SDH	事前定義の標準光マスクまたは標準電気マスクを作成できます。				
		STMO/OC1 (51.84 Mb/s)～FEC 2666 (2.6666 Gb/s)				
		該当なし	OS19/STM64(9.95328Gb/s)～FEC1066(10.864 Gb/s)	OTU2: (10.709 Gb/s) ～DT_18FC_TEST (14.025 Gb/s)		
	ファイバーチャンネル	FC133 Electrical (132.8 Mb/s)～FC2125E Abs Gamma Tx.mask (2.125 Gb/s)				
		該当なし	FC4250 Optical PI Rev13 (4.25 Gb/s)～FC4250E Abs Gamma Tx.mask (4.25 Gb/s)			
	Ethernet	100BASE-BX10 (125 Mb/s)～3.125 Gb/s 10GBase-CX4 Absolute TP2 (3.125 Gb/s)				
		該当なし	10Gb Ethernet (9.953 Gb/s) ～10xGb Ethernet (12.5 Gb/s)			
	InfiniBand	2.5 G ドライバ試験ポイント (2.5 Gb/s)。マスク x 10、試験ポイント1～10				
		該当なし	5.0G ドライバ試験ポイント1 (5 Gb/s) 5.0G ドライバ試験ポイント6 (5 Gb/s) 5.0G トランスミッターピン (5 Gb/秒)	QDR 10.0 (10 Gb/s) ～FDR_Stress_Out (10.0627 Gb/s)		
	XAUI	3.125 Gb/s XAUI Far End (3.125 Gb/s)～XAUI-E Near (3.125 Gb/s)				
	ITU G.703	DS1、100 Ωツイストペア (1.544 Mb/s)～155 Mb 1 Inv、75 Ω coax (155.520 Mb/s)				
	ANSI T1/102	DS1、100 Ω ツイストペア (1.544 Mb/s) ～STS3、75 Ω coax (155.520 Mb/s)				
	RapidIO	Serial Level 1、1.25G Rx (1.25 Gb/s)～Serial Level 1、3.125G Tx SR (3.125 Gb/s)				
	PCI Express	R1.0a 2.5G Add-in Card Transmitter Non-Transition bit mask (2.5 Gb/s)～R1.1 2.5G Transmitter Transition bit mask (2.5 Gb/s)				
		該当なし	R2.0 5.0G Add-in Card 35 dB Transmitter Non-Transition bit mask (5 Gb/s)～R2.1 5.0G Transmitter Transition bit mask (5 Gb/s)			
	シリアルATA	Ext Length、1.5G 250 Cycle、Rx Mask (1.5 Gb/s)～Gen1m、3.0G 5 Cycle、Tx Mask (3 Gb/s)				
	CEI_OIF	該当なし			CEI-11G-LR/MR 11.2 (11.1982 Gbps)～CEI-11G-SR 11.2 (11.1982 Gbps)	
	SFF	該当なし	SFF-8431ホスト側の送信テスト信号10.3125(10.3125Gb/s)からSFF-843110.3125(10.3125Gb/s)モジュール受信部、出力10.3125(10.3125 Gbps) へ			
	USB	USB 2.0低速 (1.5 Mbps) ～USB 3.1 Gen2 (10 Gb/s)				
		該当なし	USB 3.0 Gen 1 (5 Gb/s)		USB 3.1 Gen 2 (10 Gb/s)	
マスクマージン		業界標準マスクテストに使用可能				
自動マスク作成		一価電圧信号のマスクが自動で作成されます。自動マスクは、差分Xと差分Y両方の許容範囲を指定します。失敗時のアクションは、リミットテストにおけるアクションと同じです。				
テストで収集されるデータ		調べる波形の総数、エラーサンプル数、各多角形境界内のヒット数				
トリガー出力						
タイミング		取得トリガーポイントに相当するポジティブトランジション。ユーザーホールドオフ後のネガティブトランジション。				
低レベル		50Ω終端時:(-0.15 ± 0.15) V				
振幅		50Ω終端時:(800 ± 200) mV				

	PicoScope 9404A-06	PicoScope 9404A-16	PicoScope 9404A-25	PicoScope 9404A-33
立ち上がり時間	10～90%:最大0.65 ns以下、代表値0.45 ns以下、20～80%:最大0.35 ns以下、代表値0.3 ns以下			
RMSジッター	≤ 2 ps			
出力遅延	4 ± 1 ns			
出力カップリング	DC			
出力コネクター	SMA (f)			
クロック回復トリガー - 回復済みデータ出力 (オプション)				
データレート	6.5 Mb/s～5 Gb/s	6.5 Mb/s～8 Gb/s	6.5 Mb/s～11.3 Gb/s	
アイ振幅	250 mV p-p (代表値)			
アイ立ち上がり/立ち下がり時間、20～80%	75 ps代表値	50 ps代表値		
RMSジッター	2 ps + 1%ユニット間隔			
出力カップリング	AC			
出力接続	SMA (f)			
クロック回復トリガー - 回復済みのクロック出力 (オプション)				
出力周波数 (ハーフフルレートクロック出力)	3.25 MHz～3 GHz	3.25 MHz～4 GHz	3.25 MHz～5.65 GHz	
出力振幅	250 mV p-p (代表値)			
出力カップリング	AC			
出力コネクター	SMA (f)			
一般事項				
電源電圧	+12 V ± 5%			
電源電流	2.7 A	2.9 A	2.4 A	2.5 A
保護	過電圧または逆電圧時に自動シャットダウン			
AC-DCアダプター	ユニバーサルアダプター同梱			
PC接続	USB 2.0 (高速) USB 3.0にも対応。			
	Ethernet LAN			
ソフトウェア	PicoSample 4: Windows 7、8、10 (32 ビット版 & 64 ビット版)、Windows 11 (64 ビット)			
PC 要件	プロセッサ、メモリ、ディスク容量: OSの要件に応じて			
温度範囲	操作: +5 °C～+40 °C (通常稼働時)、+15 °C～+25 °C (記載の精度) 保管: -20～+50 °C			
湿度範囲	操作: +25 °Cで最大85 % (相対湿度、結露なきこと) 保管: 最大95% (相対湿度、結露なきこと)			
環境	最大高度2000m、EN 61010規定の汚染度2:「非導電性の汚染で、結露によって一時的な導電性が発生することがある」			
寸法 (幅×高さ×奥行き)	244 × 54 × 233 mm			
総重量	1.52 kg			
適合	CFR-47 FCC (EMC)、EN 61326-1 (EMC)、EN 61010-1 (LVD)			
保証	3年			
* (*) マークのついている仕様は、性能検証で確認してください。 † これらの仕様は、30分のウォームアップ後、ファームウェアのキャリブレーション温度±2 °Cの場合に有効です。				

キットの同梱物およびアクセサリ

PicoScope 9400Aシリーズオシロスコープキットには、以下の同梱物が含まれています：

- PicoScope 9400Aシリーズサンプラー拡張リアルタイムオシロスコープ (SXRT0)
- www.picotech.com/downloadsからの無料のソフトウェアアップデート
- クイックスタートガイド
- 12 V電源、IECインレット
- 地域別IEC電源コード4本 (英国、EU、米国、オーストラリア/ニュージーランド各1本)
- USB ケーブル、1.8 m
- コネクターセーバー4個 (SMAまたはK、モデルによる)
- PicoWrench N / SMA / PC3.5 / Kコンビネーションレンチ
- 保管・持ち運び用ケース
- LAN ケーブル、1 m

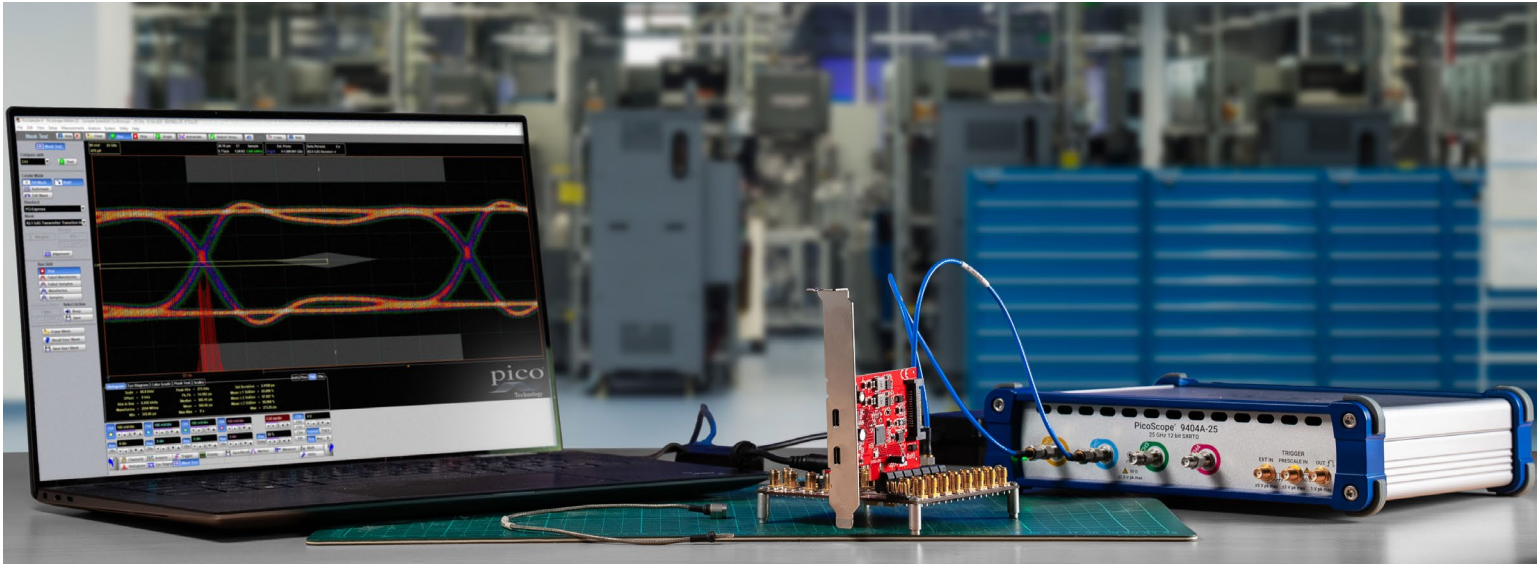


アクセサリ (オプション)

注文コード	説明	
アダプター		
TA313	3 GHz SMA(f)-BNC(m)インターシリーズアダプター	
TA314	18 GHz SMA(f) ~ N(m) インターシリーズアダプター	
TA170	18 GHz 50 Ω SMA(オス-メス) コネクターセイバーアダプター	
TA571	40 GHz 50 Ω 2.92 mm (K) メス (SMA と互換性あり) コネクターセイバーアダプター	
PicoConnect 900シリーズキット		
PQ067	PicoConnect 910 キット: マイクロ波およびパルスプローブヘッド 6 つ、ケーブル 2 本付き	
PQ066	PicoConnect 920 キット: ギガビットプローブヘッド 6 つ、ケーブル 2 本付き	
TA315	PicoConnectプローブチップおよびはんだ付けキット	
PicoConnect 900 シリーズ受動プローブ		
TA274	PicoConnect 911 20:1 960 Ω AC カップリング 4 GHz RF、マイクロ波およびパルスプローブ	
TA275	PicoConnect 912 20:1 960 Ω DC カップリング 4 GHz RF、マイクロ波およびパルスプローブ	
TA278	PicoConnect 913 10:1 440 Ω AC カップリング 4 GHz RF、マイクロ波およびパルスプローブ	
TA279	PicoConnect 914 10:1 440 Ω DC カップリング 4 GHz RF、マイクロ波およびパルスプローブ	
TA282	PicoConnect 915 5:1 230 Ω AC カップリング 5 GHz RF、マイクロ波およびパルスプローブ	
TA283	PicoConnect 916 5:1 230 Ω DCカップリング 5 GHz RF、マイクロ波およびパルスプローブ	
TA272	PicoConnect 921 20:1 ACカップリング6 GHzギガビット受動プローブ	
TA273	PicoConnect 922 20:1 DCカップリング6 GHzギガビット受動プローブ	
TA276	PicoConnect 923 10:1 ACカップリング7 GHzギガビット受動プローブ	
TA277	PicoConnect 924 10:1 DCカップリング7 GHzギガビット受動プローブ	
TA280	PicoConnect 925 5:1 ACカップリング9 GHzギガビット受動プローブ	
TA281	PicoConnect 926 5:1 DCカップリング9 GHzギガビット受動プローブ	

アクセサリ(オプション)

注文コード	説明	
減衰器		
TA181	減衰器 3 dB 10 GHz 50 ΩSMA (オス-メス)	
TA261	減衰器 6 dB 10 GHz 50 Ω SMA (オス-メス)	
TA262	減衰器10 dB 10 GHz 50 Ω SMA (オス-メス)	
TA173	減衰器 20 dB 10 GHz 50 Ω SMA (オス-メス)	
同軸ケーブルアセンブリ		
TA264	高精度ハイレックス同軸ケーブル(スリーブなし) 30 cm SMA(m-m) 1.1 dB loss @ 13 GHz	
TA265	高精度同軸ケーブル(スリーブ付き) 30 cm SMA(m-m) 1.3 dB loss @ 13 GHz	
TA312	高精度同軸ケーブル(スリーブ付き) 60 cm SMA(m-m) 2.2 dB loss @ 13 GHz	
ツール		
TA358	トルクレンチNタイプ1 N・m (8.85 in・lb) デュアルブレーク	
TA356	トルクレンチSMA/PC3.5/K、1 N・m (8.85 in・lb)デュアルブレーク	



PicoScope 9400Aシリーズサンプラー拡張リアルタイムオシロスコープ注文情報

説明	帯域幅 (GHz)	チャンネル	注文コード
PicoScope 9404A-33オシロスコープ	33	4	PQ407
PicoScope 9404A-25オシロスコープ	25		PQ355
PicoScope 9404A-16オシロスコープ	16		PQ405
PicoScope 9404A-06オシロスコープ	6		PQ403

Pico Technologyの製品をもっと見る...

PicoSource AS108シリーズ
機動性に優れた、高速・携帯型の周波数アナライザー



- スパン0.3 MHz～8 GHz、+15 dBm～-15 dBm
- CW、スイープまたはステップモード
- 周波数、位相、振幅をプログラム可能
- 定常周波数: < 55 μ s～10 ppm
- 定常振幅: < 200 μ s～0.1 dB
- スタンドアロン起動モード

PicoSource PG900 シリーズ
差動ピコ秒パルスジェネレーター



- 内蔵型50 Ω SMA (メス) ステップリカバリダイオード出力
- 遷移時間 60 ps未満
- 2.5 ～ 6 V 可変振幅デュアル出力
- $\pm$ 1nsの範囲で1 ps刻みのタイミングデスキュー調整
- パルス幅: 200 ns ～ 4 μ s

PicoScope 6000シリーズ
超大容量メモリ



- チャンネル: 4または8+16デジタルMSO
- 信号ジェネレーター/任意波形ジェネレーター: 200 MS/s
- 帯域幅: 最大3 GHz
- サンプリング: 最大10 GS/s
- 分解能: 8～12ビット
- 取得メモリ: 2～4 GS

PicoVNA 100シリーズ
Quad RX高速・携帯型ベクトルネットワークアナライザー



- 300 kHz～6または8.5 GHz
- 高速、最大5500のデュアルポートSパラメーター (1秒あたり)
- 高い精度を実現するQuad RX 4レーシーバーアーキテクチャ
- ダイナミックレンジ、最大124 dB (帯域幅10 Hz)

英国グローバル本社:

☎ +44 (0) 1480 396 395
✉ sales@picotech.com

Pico Technology
James House
Colmworth Business Park
St. Neots
Cambridgeshire
PE19 8YP
英国

北米支社:

☎ +1 800 591 2796
✉ sales@picotech.com

Pico Technology
320 N Glenwood Blvd
Tyler
TX 75702
米国

ドイツ支社および EU 認定代理店:

☎ +49 (0) 5131 907 62 90
✉ info.de@picotech.com

Pico Technology GmbH
Emmericher Str.60
47533 Kleve
ドイツ

アジア太平洋地域支社:

☎ +86 21 2226-5152
✉ pico.asia-pacific@picotech.com

本書には誤字・脱字が含まれている場合があります。
Pico TechnologyおよびPicoScopeは、Pico Technology Ltd.の国際登録商標です。
Windowsは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。
MM137.ja-3 Copyright © 2025 Pico Technology Ltd.無断複写・複製・転載禁止。

www.picotech.com

